

ゴールドプラン21 (第9期計画)

足利市老人福祉計画
足利市介護保険事業計画



令和6（2024）年3月

足利市

足利市民憲章

昭和 45（1970）年 5 月 5 日制定

私たちは、自然にめぐまれ、はるかなる昔から文化がひらけていた学問のまち、産業のまち足利市を心から愛し、より美しく、より豊かにするためにこの憲章を定めます。

1 足利市は日本最古の学校のあるまちです。

教養を深め、文化のかおり高いまちをつくり、すぐれた伝統をさらに発展させましょう。

1 足利市は美しいまちです。

めぐまれた自然を愛し、清潔で健康なまちをつくりましょう。

1 足利市は善意のまちです。

理解と信頼をもって、みんなのしあわせのためにお互いに助け合いましょう。

1 足利市は希望にみちたまちです。

明るい家庭をつくり、次代をになうこどもに誇りと希望をもたせましょう。

1 足利市は伸びゆくまちです。

しごとを愛し、みんなの創意で時代の進歩に調和した活気のあるまちをつくりましょう。

はじめに

わが国の高齢化は、世界に例を見ない速さで進んでおり、総人口に占める65歳以上人口の割合（高齢化率）は、平成28（2016）年には30%を超え、超高齢社会を迎えています。本市では、国を上回る速さで高齢化が進み、令和5（2023）年の高齢化率は33%を超えており、今後もひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、介護を必要とする方、認知症を抱える方の増加が予想されます。



このような状況を踏まえ、本市では、高齢者一人ひとりが健康で心豊かに生活ができる社会を目指して、平成12（2000）年度から「ゴールドプラン21（足利市老人福祉計画・足利市介護保険事業計画）」を策定しています。今回策定しました「ゴールドプラン21（第9期計画）足利市老人福祉計画・足利市介護保険事業計画」は、「地域で共に支え合い、高齢者が、生きがいをもって生活できるまちづくりをめざして」を基本理念に掲げ、健康づくり・介護予防の推進や地域包括支援センターの機能強化、地域で安心して暮らせるための介護サービスの整備を進め、高齢者が住み慣れた地域で健康で生きがいを持って暮らせるまちづくりを目指す高齢者施策の総合的な計画として策定しました。

今後は、本計画に基づき、高齢者の人権が尊重され、地域力を生かした支え合い活動などにより医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保される体制として地域全体で高齢者を支える「地域包括ケアシステム」の更なる充実を図り、地域共生社会の実現に向け取り組んでまいりますので、市民の皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり実施した日常生活圏域ニーズ調査に御協力いただいた市民の皆様、貴重な御意見を多数いただきました足利市介護保険等運営協議会の委員の方々並びに関係機関・団体の皆様に心から厚くお礼を申し上げます。

令和6（2024）年3月

足利市長 **早川尚秀**

目 次

第 1 章 計画の概要

第 1 節	計画策定の趣旨	6
第 2 節	計画の位置づけ	7
第 3 節	計画の期間	8
第 4 節	第 8 期計画からの変更点	9
第 5 節	計画の策定体制	9

第 2 章 高齢者の現状

第 1 節	高齢者の現状と推計	10
	○年齢 3 区分別推計人口と高齢化率	
	○年代別高齢者人口の推計	
第 2 節	要介護（要支援）認定者の現状	12
第 3 節	認知症高齢者の現状	13
第 4 節	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の現状	14
第 5 節	日常生活圏域の現状	15
	○日常生活圏域ニーズ調査の実施	
第 6 節	足利市の高齢者の支援状況	18

第 3 章 基本理念・基本方針・施策の体系

第 1 節	基本理念	19
第 2 節	基本方針	20
第 3 節	施策の体系	21
第 4 節	地域包括ケアシステムの推進	22

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

第1節	生きがいつくりの推進	23
第2節	介護予防の推進	29
第3節	在宅福祉サービスの推進	33
第4節	地域における支え合いの推進	37
第5節	地域包括支援センターの機能強化	41
第6節	在宅医療・介護連携の推進	44
第7節	認知症施策の推進	46
第8節	介護人材の育成・確保	50

第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

第1節	介護サービス・介護予防サービスの推進	51
第2節	介護予防・日常生活支援の推進	81
第3節	第1号被保険者の保険料	86

第6章 計画の推進

第1節	サービスの質の確保と向上	88
第2節	適切なサービス提供の確保	89
第3節	給付適正化の推進	89
第4節	計画の進行管理	90
第5節	関係機関との連携	90

【資料編】

1	足利市介護保険等運営協議会条例	91
2	足利市介護保険等運営協議会委員名簿	93
3	足利市介護保険等運営協議会開催経過	95
4	日常生活圏域ニーズ調査	96

第1章 計画の概要

第1節 計画策定の趣旨

我が国の高齢化は世界に類のない速さで進んでおりますが、とりわけ本市の高齢化率は、令和4（2022）年10月時点で33.1%となり、国の29.0%を上回り、今後、令和6（2024）年には33.7%、団塊の世代が75歳に達する令和7（2025）年には34.2%となるものと見込んでおります。

我が国の介護保険制度は、制度施行後20年以上が経過し、サービス利用者は施行以来年々増加するなど、高齢者の介護を支える制度として定着しましたが、一方で、急速な高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の生活不安への対応、介護を必要とする高齢者とその方を介護する高齢者への対応、医療ニーズの高い高齢者や重度の要介護者への対応等が喫緊の課題となっており、これら多様化するニーズに応えられる保健・医療・福祉サービスの提供が求められています。

このような中、国は平成18（2006）年の介護保険法の大幅な見直しの中で、在宅介護サービスを基本とする方針を明確にし、予防給付、地域支援事業、地域密着型サービスや地域包括支援センターを創設する制度改正を行い、また、平成26

（2014）年の法改正により高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう医療、介護、予防、住まい、生活支援の5つのサービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築が進められ、平成29（2017）年度から介護予防・日常生活支援総合事業が実施されています。

また、平成29（2017）年6月の法改正により「地域包括ケアシステム」の深化・推進のために、自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の強化等の取り組み、医療・介護の連携の推進や地域共生社会の実現に向けた取り組みが進められています。

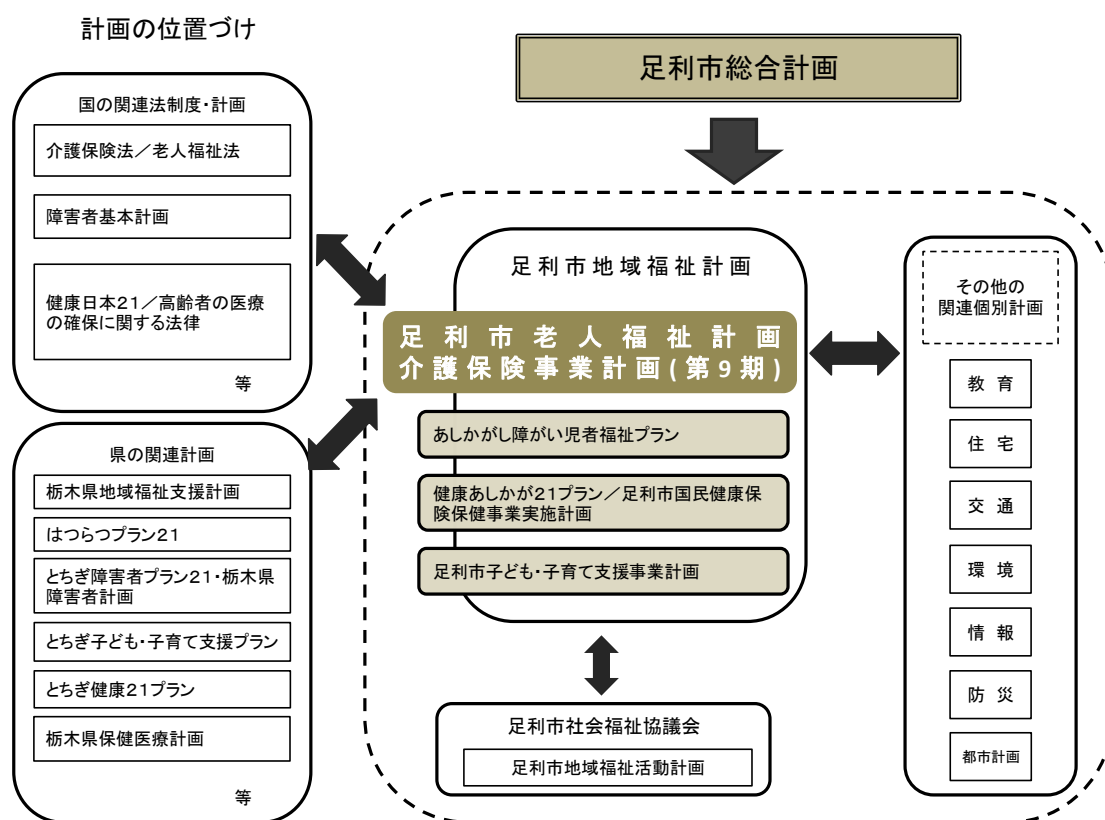
さらに、令和2（2020）年6月に成立した「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」では、「地域包括ケアシステム」を更に推進するため、包括的な支援体制の構築の支援や認知症施策の総合的な推進を行うこととしています。

そこで、こうした高齢者を取り巻く状況の変化や諸課題に対応するため、本市における高齢者施策の基本的な考え方や目指すべき姿を、総合的かつ体系的に整理し方向性を示すとともに、介護保険の安定的な運営を目的として「ゴールドプラン21（第9期計画）足利市老人福祉計画・足利市介護保険事業計画」（以下「本計画」といいます。）を策定するものです。

第2節 計画の位置づけ

本計画は、老人福祉法第20条の8に規定された高齢者福祉全般にわたる計画である「老人福祉計画」及び介護保険法第117条の規定による介護保険事業の円滑な運営を図るための「介護保険事業計画」を一体のものとして策定した計画です。

また、本計画は足利市総合計画を最上位計画として、足利市地域福祉計画や他の関連計画との整合性に配慮しています。



第3節 計画の期間

本計画の期間については、令和6（2024）年度から令和8（2026）年度までの3年間とします。なお、令和22年（2040）年に85歳以上の高齢者人口がピークに達するとされておりますが、本市では5年前倒しとなることが推計されていることから、本計画策定時に令和17（2035）年度及び令和22（2040）年度の給付見込みも試算しました。

年 度	事 業 計 画 の 推 移		
2000～2002年度	第1期計画期間		
2003～2004年度	見直し →	第2期計画期間	
2005年度			
2006～2007年度		見直し →	第3期計画期間
2008年度			
2009年度			第4期計画期間 (第4期老人福祉計画・介護 保険事業計画)
2010年度			
2011年度			
2012年度			第5期計画期間 (第5期老人福祉計画・介護 保険事業計画)
2013年度			
2014年度			
2015年度			第6期計画期間 (第6期老人福祉計画・介護 保険事業計画)
2016年度			
2017年度			
2018年度			第7期計画期間 (第7期老人福祉計画・介護 保険事業計画)
2019年度			
2020年度			
2021年度			第8期計画期間 (第8期老人福祉計画・介護 保険事業計画)
2022年度			
2023年度			
2024年度			第9期計画期間 (第9期老人福祉計画・介護 保険事業計画)
2025年度			
2026年度			
2035年度			給付見込みを試算
2040年度			

※ 第1期計画、第2期計画は5年間を計画期間とし、3年ごとに見直し策定していたが、第3期計画から3年間を計画期間として策定

第4節 第8期計画からの変更点

本計画では、地域包括ケアシステムを更に推進するため、第8期計画の施策を引き続き実施するとともに、第4章の構成について見直しを行いました。

また、令和22年(2040)年に85歳以上の高齢者人口がピークに達するとされておりますが、本市では5年前倒しとなることが推計されていることから、令和17(2035)年度及び令和22(2040)年度の給付見込みも試算しました。

第5節 計画の策定体制

高齢者保健福祉施策の円滑な運営を図るため、保健・医療・福祉の各分野の関係者をはじめ、市民、行政など幅広い関係者の参画による「足利市介護保険等運営協議会」において検討しました。

第2章 高齢者の現状

第1節 高齢者の現状と推計

1 年齢3区分別推計人口と高齢化率

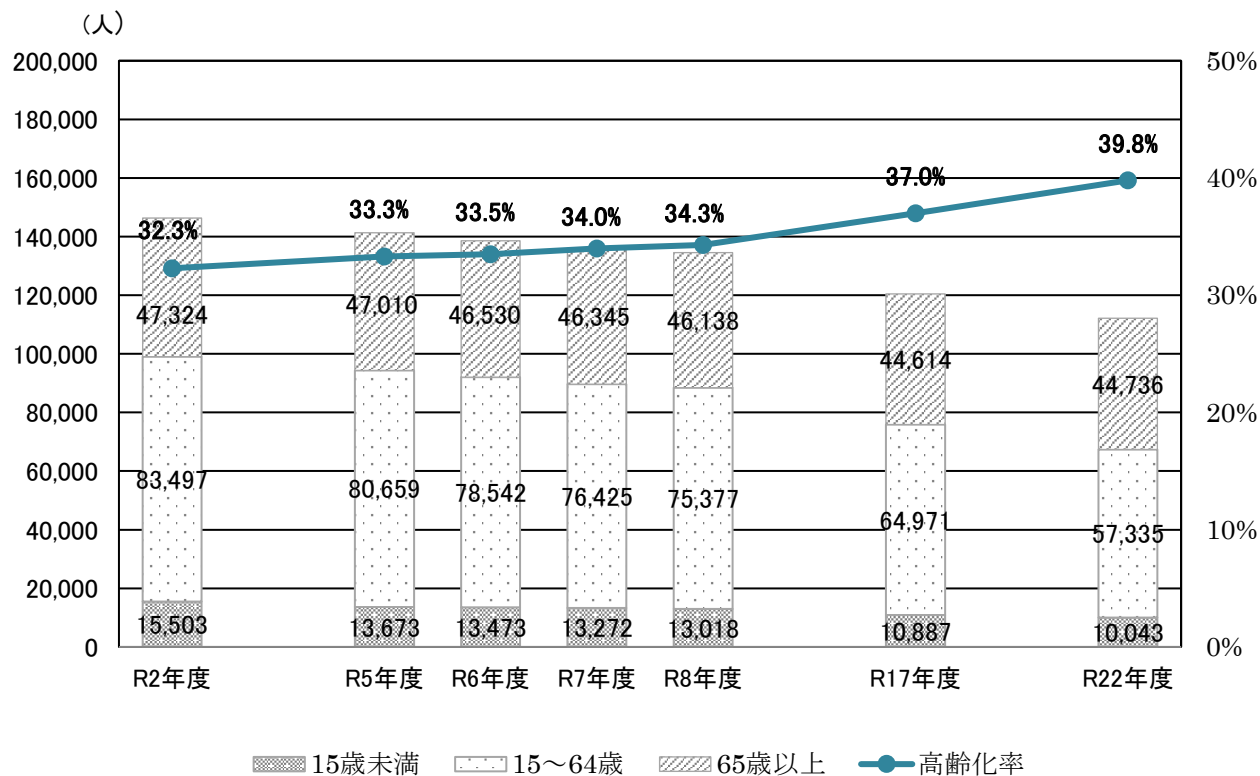
本市の人口の推移をみると年々減少傾向となっており、令和5（2023）年10月の人口は141,342人となっています。

65歳以上の高齢者人口も減少傾向にありますが、高齢化率は上昇しています。令和8（2026）年には34.3%となる見込みです。

人口及び被保険者数等 (人)

	令和2年度 (2020)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
総人口	146,324	141,342	138,780	136,218	134,698	120,604	112,437
15歳未満	15,503	13,673	13,473	13,272	13,018	10,887	10,043
15～64歳	83,497	80,659	78,542	76,425	75,377	64,971	57,335
65歳以上	47,324	47,010	46,530	46,345	46,138	44,614	44,736
高齢化率	32.3%	33.3%	33.5%	34.0%	34.3%	37.0%	39.8%

*2024年度以降は国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年度推計）」により推計した値

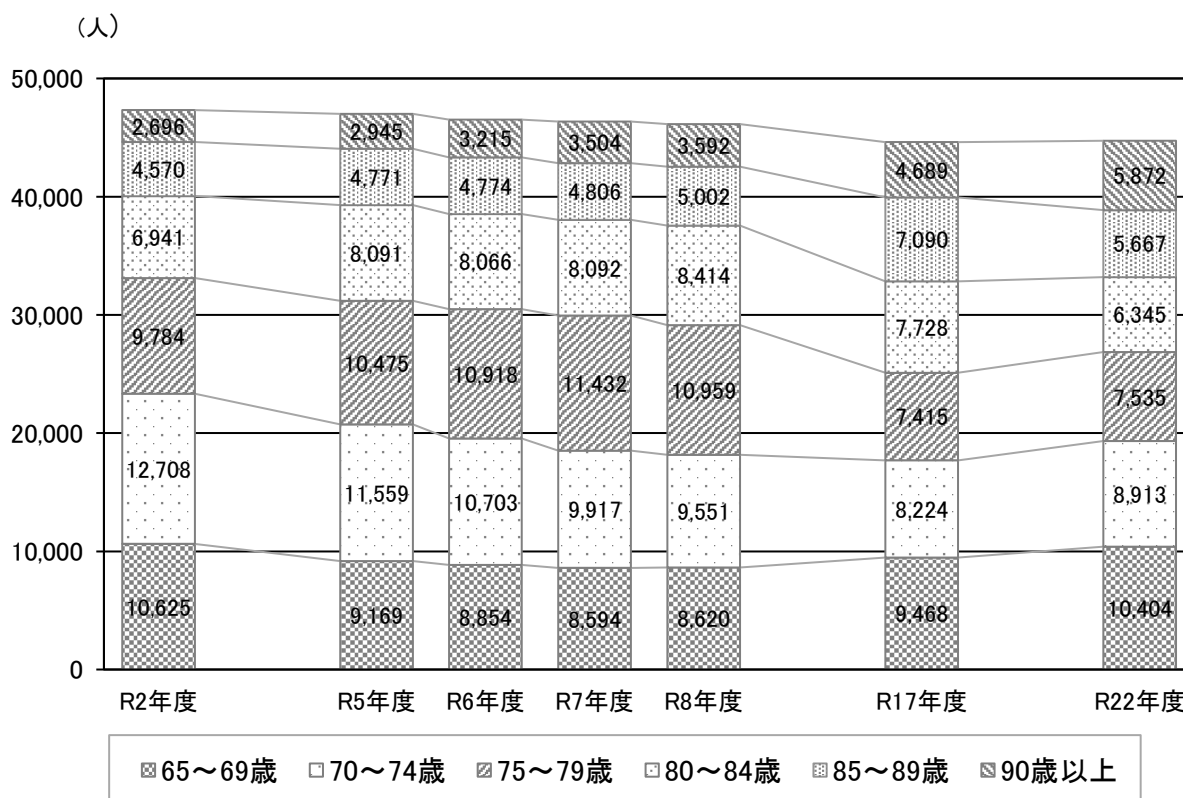


2 年代別高齢者人口の推計

高齢者人口を5歳ごとの年齢区分で見ると年齢層が高い区分の増加割合が高くなっています。

(人)

	令和2年度 (2020)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
65～69歳	10,625	9,169	8,854	8,594	8,620	9,468	10,404
70～74歳	12,708	11,559	10,703	9,917	9,551	8,224	8,913
75～79歳	9,784	10,475	10,918	11,432	10,959	7,415	7,535
80～84歳	6,941	8,091	8,066	8,092	8,414	7,728	6,345
85～89歳	4,570	4,771	4,774	4,806	5,002	7,090	5,667
90歳以上	2,696	2,945	3,215	3,504	3,592	4,689	5,872



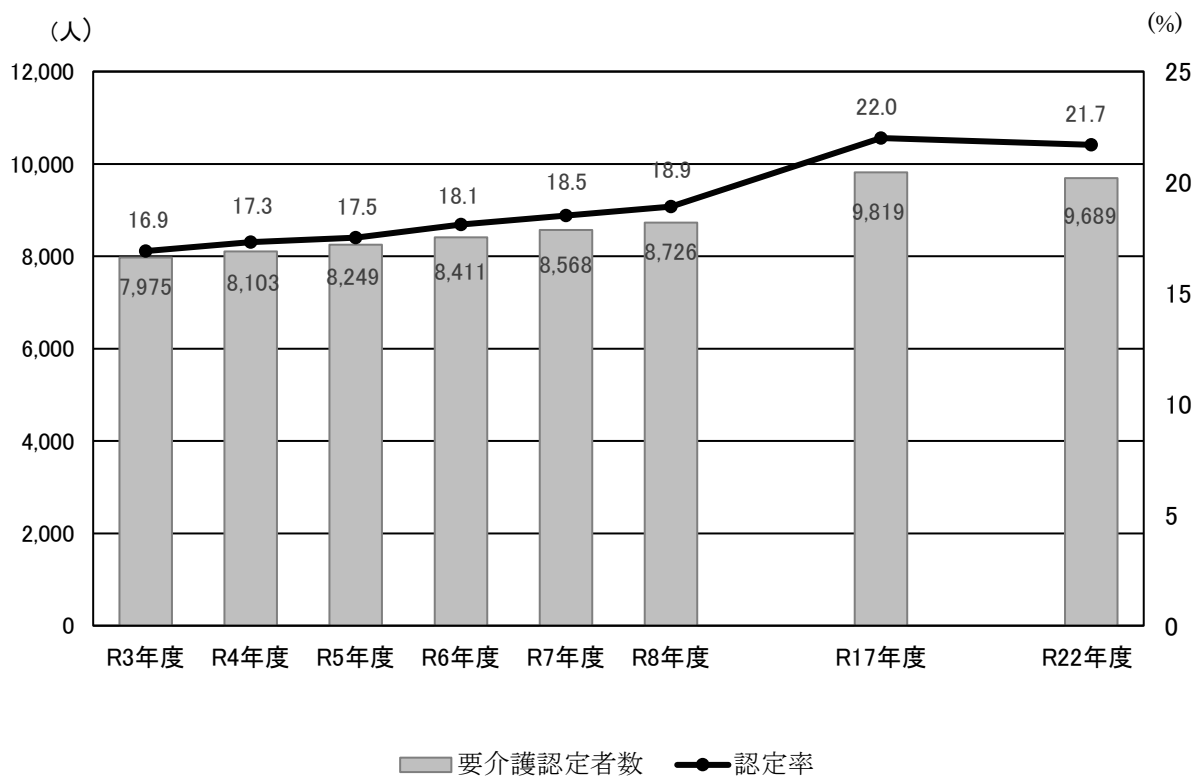
第2章 高齢者の現状

第2節 要介護（要支援）認定者の現状

要介護認定者数と認定率の推移を見ると介護保険制度が開始された平成12（2000）年以降、要介護認定者は増加の一途をたどり、令和5（2023）年9月末現在8,204人で平成12（2000）年に比べ約2.8倍の増加となっています。

また、要介護認定者の増加に伴い、認定率も上昇しており、令和4（2022）年には17%に達しています。

	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
要介護認定者数（人）	7,975	8,103	8,249	8,411	8,568	8,726	9,819	9,689
認定率（%）	16.9	17.3	17.5	18.1	18.5	18.9	22.0	21.7



第3節 認知症高齢者の現状

令和2（2020）年、全国における65歳以上の高齢者のうち、認知症を発症している人（認知症有病率）は推計17.2%で、令和7（2025）年には、18.5%、約675万人になるといわれています。令和7（2025）年の認知症有病率を本市にあてはめると約8,600人になります。

○認知症高齢者の将来推計（全国）

	平成27年度 (2015)	令和2年度 (2020)	令和7年度 (2025)	令和12年度 (2030)	令和22年度 (2040)
各年齢の認知症有病率が 一定の場合の将来推計	15.2% 517万人	16.7% 602万人	18.5% 675万人	20.2% 744万人	20.7% 802万人
各年齢の認知症有病率が 上昇する場合の将来推計	15.5% 525万人	17.5% 631万人	20.0% 730万人	22.5% 830万人	24.6% 953万人

「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」を元に推計

[参考]認知症の人の将来推計について

- 長期の縦断的な認知症の有病率調査を行っている久山町研究データから、新たに推計した認知症の有病率（2025年）
 - ・各年齢層の認知症有病率が、2012年以降一定と仮定した場合：18.5%
 - ・各年齢層の認知症有病率が、2012年以降も糖尿病有病率の増加により上昇すると仮定した場合：20.0%
- 本推計結果を、2013年筑波大学発表の研究報告による2012年における認知症の有病者数462万人にあてはめた場合、2025年の認知症の有病者数は、約700万人となる。

○全国の将来推計を本市に当てはめた場合の認知症高齢者の増加予測（足利市）

	平成27年度 (2015)	令和2年度 (2020)	令和7年度 (2025)	令和12年度 (2030)	令和22年度 (2040)
各年齢の認知症有病率が 一定の場合の将来推計	15.2% 6,890人	16.7% 7,903人	18.5% 8,606人	20.2% 9,178人	20.7% 9,327人
各年齢の認知症有病率が 上昇する場合の将来推計	15.5% 7,026人	17.5% 8,281人	20.0% 9,304人	22.5% 10,223人	24.6% 11,085人

*平成30（2018）年の国立社会保障・人口問題研究所の推計を基にした推計人口から推計

第4節 ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の現状

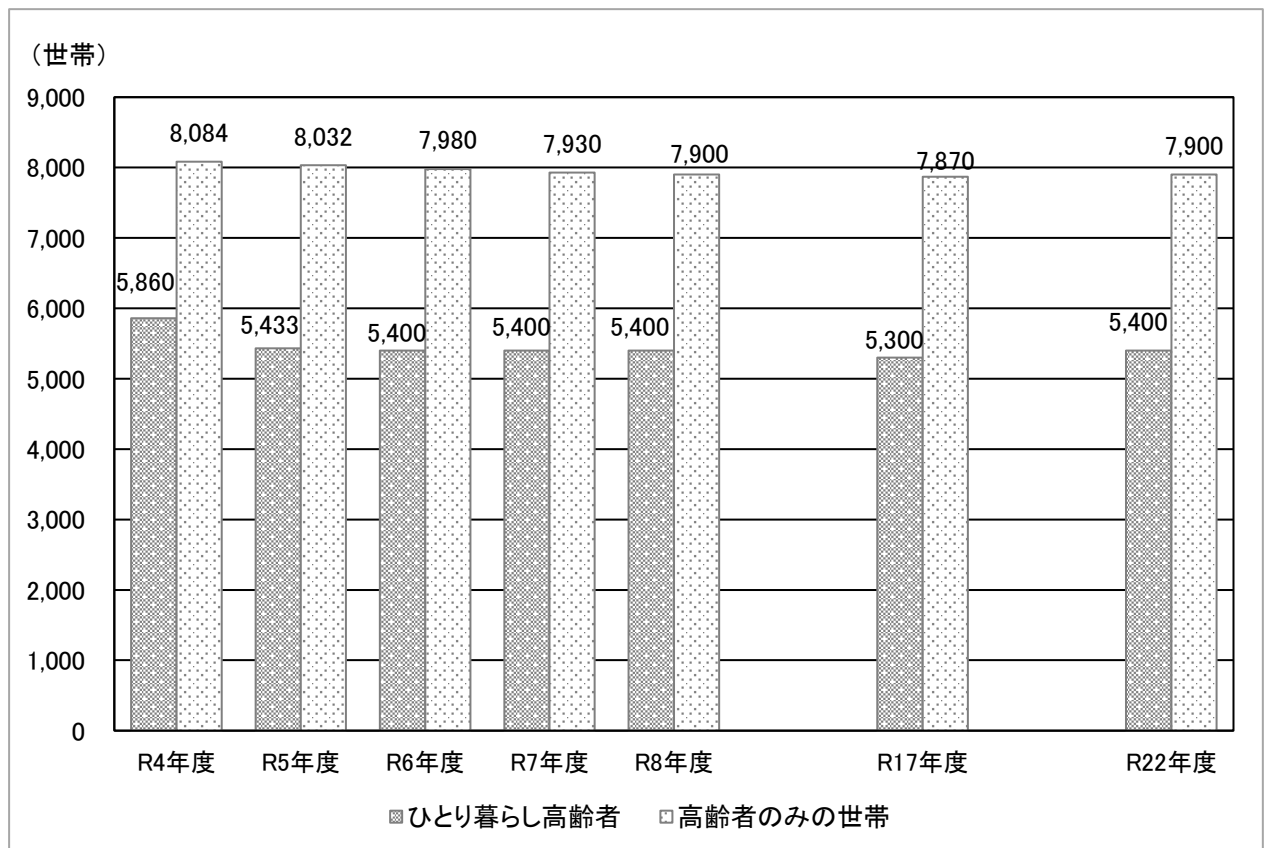
高齢化や核家族化の進展、ライフスタイルの変化等により総世帯に占めるひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯数の割合は、微減傾向にあると思われます。

○ひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯の推計

	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
ひとり暮らし 高齢者の世帯	5,860	5,433	5,400	5,400	5,400	5,300	5,400
高齢者のみの 世帯	8,084	8,032	7,980	7,930	7,900	7,870	7,900

*2022、2023年は実績で、2024年以降は推計となっています。

*ひとり暮らし高齢者の世帯数は、地域での実態調査に即した台帳の登録数です。



第5節 日常生活圏域の現状

1 日常生活圏域の設定

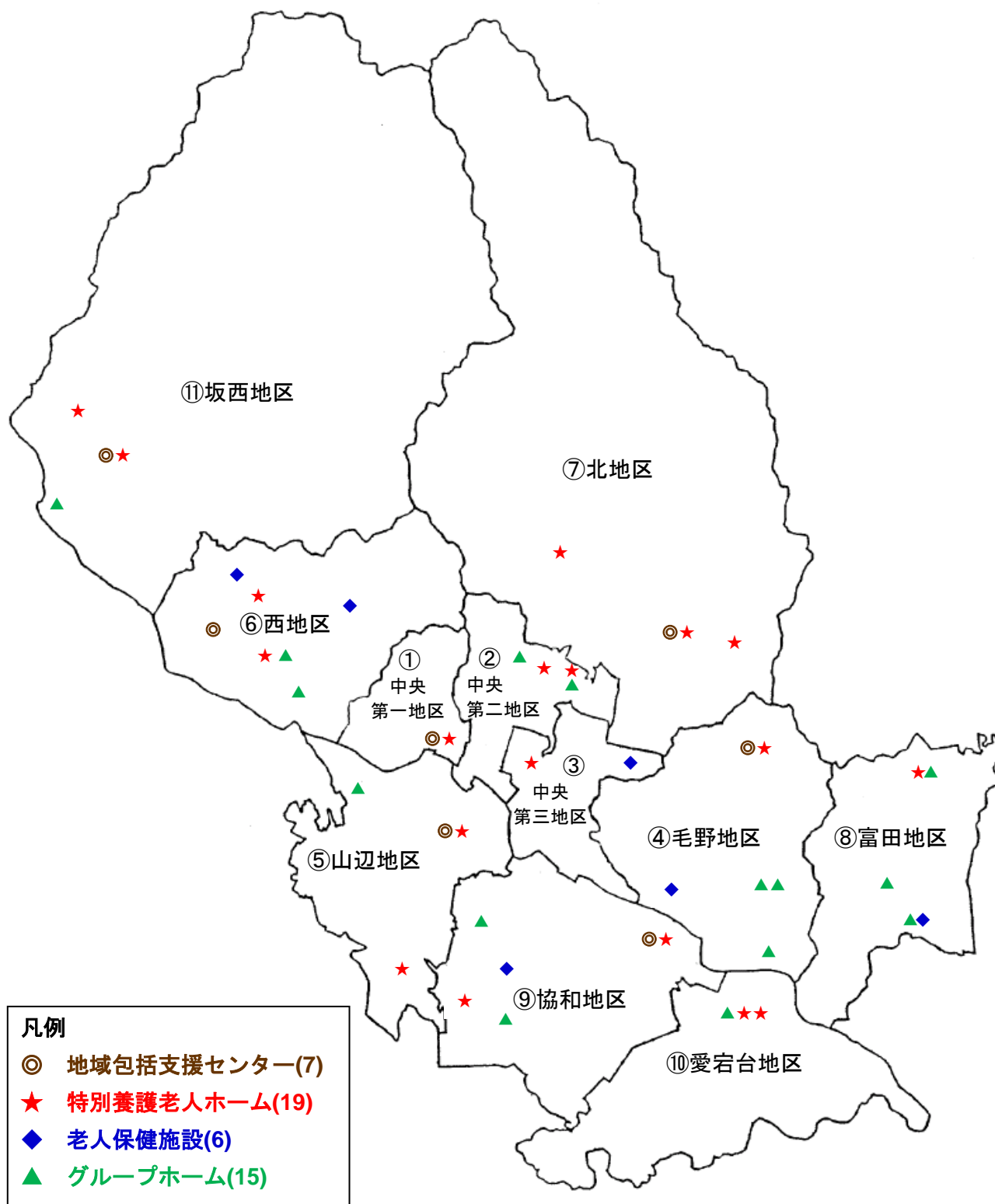
日常生活圏域は、介護保険事業計画の作成に関する基本的な事項の一つとして、高齢者の生活の継続性、介護資源の地域格差の是正、介護資源を拡充するための財源等を総合的に勘案し、住み慣れた地域に身近なサービス基盤を整備するために設定されます。

本市においては、密接な関係をもった中学校区を日常生活圏域に設定しています。

令和5（2023）年10月1日現在

地図No.	生活圏域名	総人口	高齢者人口	高齢化率	要介護認定率
①	中央第一地区	2,623	1,076	41.02%	14.6%
②	中央第二地区	10,346	3,709	35.85%	22.6%
③	中央第三地区	10,565	3,919	37.09%	20.7%
④	毛野地区	14,792	4,599	31.09%	16.7%
⑤	山辺地区	24,130	7,254	30.06%	17.2%
⑥	西地区	20,230	6,598	32.61%	17.2%
⑦	北地区	13,909	5,031	36.17%	15.7%
⑧	富田地区	3,880	1,520	39.18%	17.9%
⑨	協和地区	19,222	5,255	27.34%	15.9%
⑩	愛宕台地区	5,073	2,135	42.09%	15.6%
⑪	坂西地区	16,572	5,914	35.69%	16.6%
合 計		141,342	47,010	33.26%	17.4%

2 日常生活圏域の設定及び施設設置図



3 日常生活圏域ニーズ調査の実施

本計画の策定に当たって、日常生活圏域ごとの高齢者のニーズや地域の課題を把握するために日常生活圏域ニーズ調査を実施しました。調査項目には厚生労働省から示された項目に、本市独自の認知症や医療・介護についての項目を加え、調査を実施しました。

○ 調査の概要

1 調査実施期間

令和5年1月11日（水）から 令和5年2月10日（金）まで

2 調査実施対象者

一般高齢者（事業対象者を含む）、要支援1・2 計4,400名

※ 令和4年4月1日現在の住民基本台帳から市内在住の65歳以上の方を無作為抽出

3 調査の方法

- ・ 郵送により調査票を配布し、郵送又は来庁により提出
- ・ アンケート調査票による自記式調査（無記名）

4 調査票の回収数

配布数	回収数	回収率
4,400	2,987	67.9%

5 回答者の内訳

	男性		女性		合計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
65～69歳	302	22.1%	333	21.2%	635	21.6%
70～74歳	416	30.5%	415	26.4%	831	28.3%
75～79歳	323	23.7%	394	25.1%	717	24.4%
80～84歳	193	14.1%	263	16.7%	456	15.6%
85～89歳	105	7.7%	128	8.2%	233	7.9%
90歳以上	27	1.9%	38	2.4%	65	2.2%
計	1,366	100.0%	1,571	100.0%	2,937	100.0%
無回答					50	

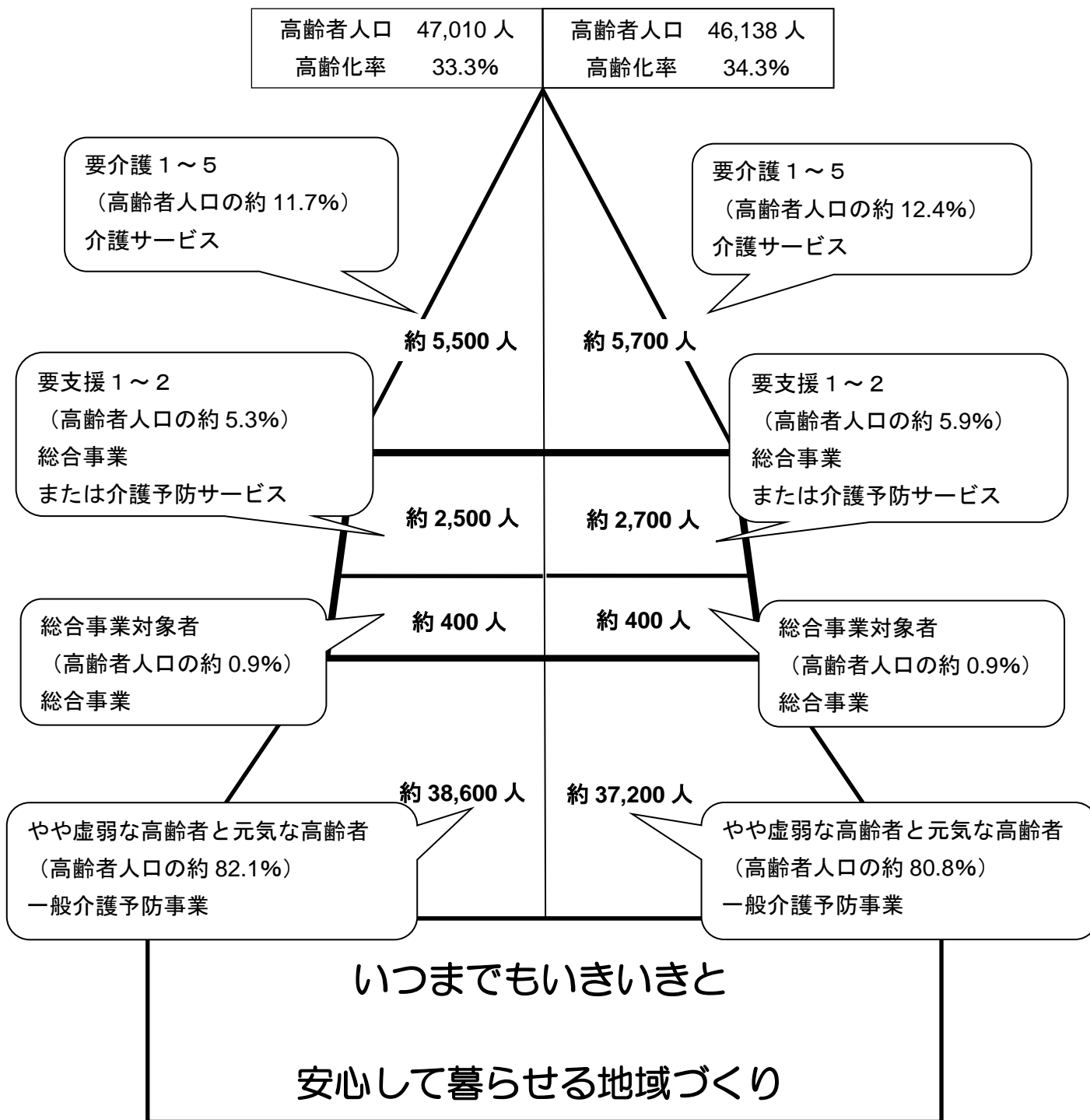
第6節 足利市の高齢者の支援状況

足利市の人口 141,342 人

(令和5(2023)年度推計人口)

足利市の人口 134,699 人

(令和8(2026)年度推計人口)



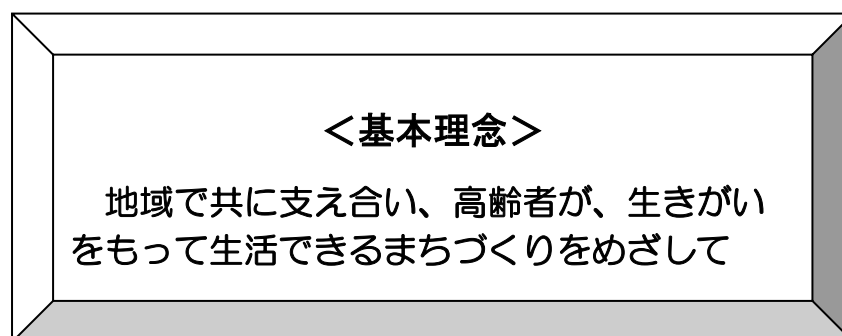
第3章 基本理念・基本方針・施策の体系

第1節 基本理念

本計画は「地域で共に支え合い、高齢者が、生きがいをもって生活できるまちづくりをめざして」を基本理念とし、各施策の推進に当たっては高齢者の身近な地域において、自己選択、個人の尊厳を尊重し、市民や関係団体、事業者、行政等がそれぞれの役割を担いながら、互いに連携・協力して取り組んでいきます。

そこで、本計画では、これまでの理念や取り組みを発展的に受け継ぐとともに、地域包括ケアシステムの構築・深化を進めていきながら、高齢者が、地域の中で自分らしく生きがいに満ちた生活を送れる社会づくりを進めていきます。そのためには、高齢者が要支援・要介護状態にならないよう効果的な介護予防の取り組みをはじめ、閉じこもりがちな高齢者を作らないよう地域とのつながりを保つとともに、高齢者が自らの経験や知識を生かし、地域づくりの担い手として活躍することにより生きがいを感じられるまちづくりが必要であり、互助、共助を含めた支え合いを進めていきます。

また、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するためには、在宅生活から施設や病院への入所（院）や退所（院）など、個々の生活状況の変化に応じて保健・医療・福祉を継続的・包括的に提供する社会資源の整備が必要です。そのためには、高齢者のニーズを的確に捉え、どのようなサービスを高齢者が必要としているかを見極めたうえで新たなサービスの導入や施設整備などを含めた良質な介護保険サービスの提供を進めていきます。



第2節 基本方針

本計画の基本理念を具現化する方策として2つの基本方針を掲げます。

基本方針1

いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

介護予防事業による介護予防・健康づくりの推進とともに、生きがいつくりや就業機会の拡大などによる社会活動への参加促進を図りながら、在宅における自立した生活の支援や在宅介護を支える在宅福祉サービスを推進します。

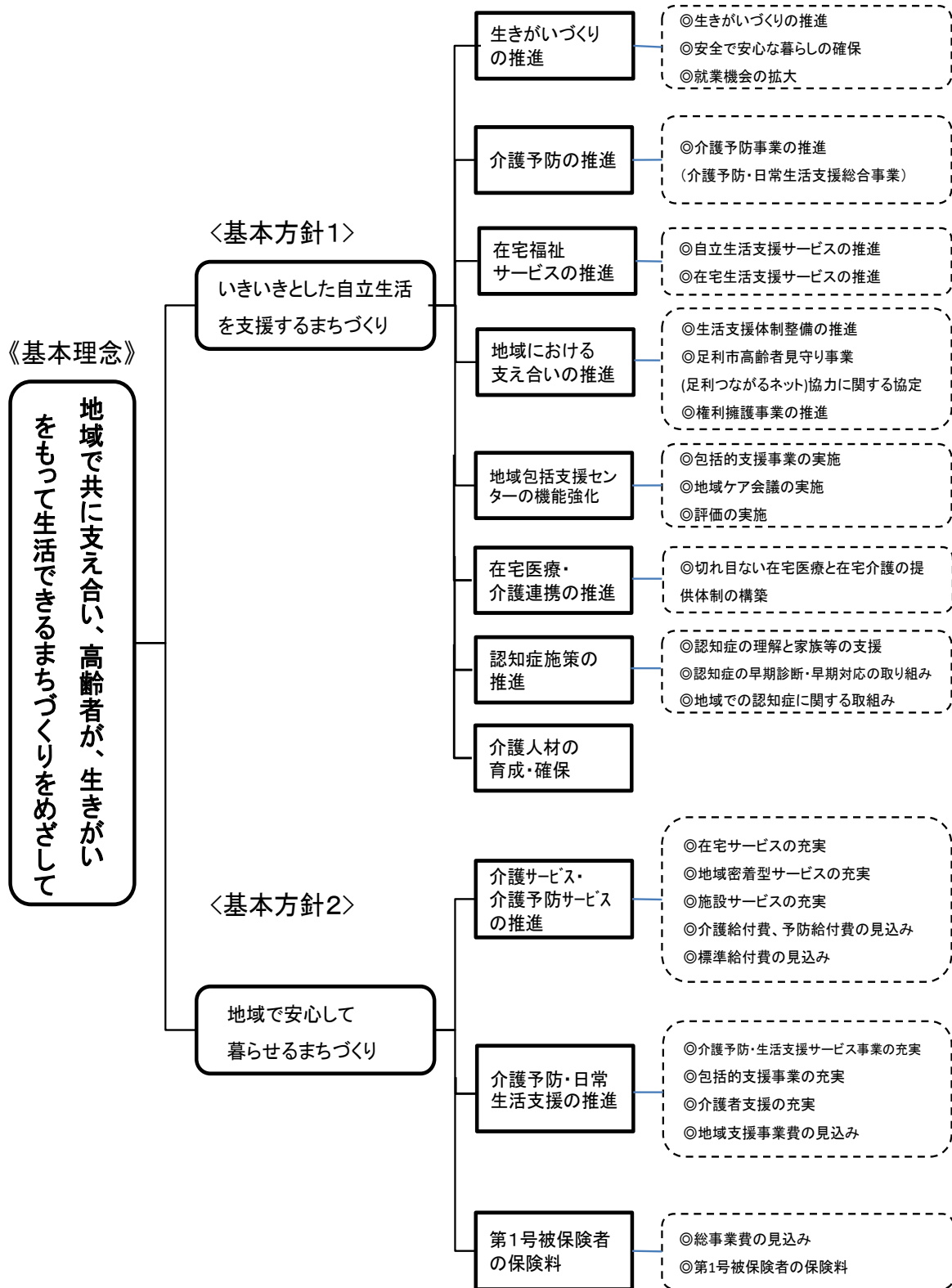
また、認知症に対する理解や早期発見・早期対応などの認知症施策の推進、在宅医療・介護の連携の推進、地域包括支援センター等の機能充実・強化、生活支援体制整備、介護人材の育成・確保などこれら事業間の連携を図りながら、地域における支え合いの推進に取り組みます。

基本方針2

地域で安心して暮らせるまちづくり

高齢者が介護を要する状態になっても、個々に応じた適切な介護サービスが受けられるよう高齢者のニーズを的確に捉え、在宅サービスや地域密着型サービス、介護予防・日常生活支援総合事業の充実を図るとともに、様々な事情で在宅での生活が困難な方に対しても住み慣れた地域での生活を継続できるよう介護老人福祉施設など環境整備に努めます。

第3節 施策の体系

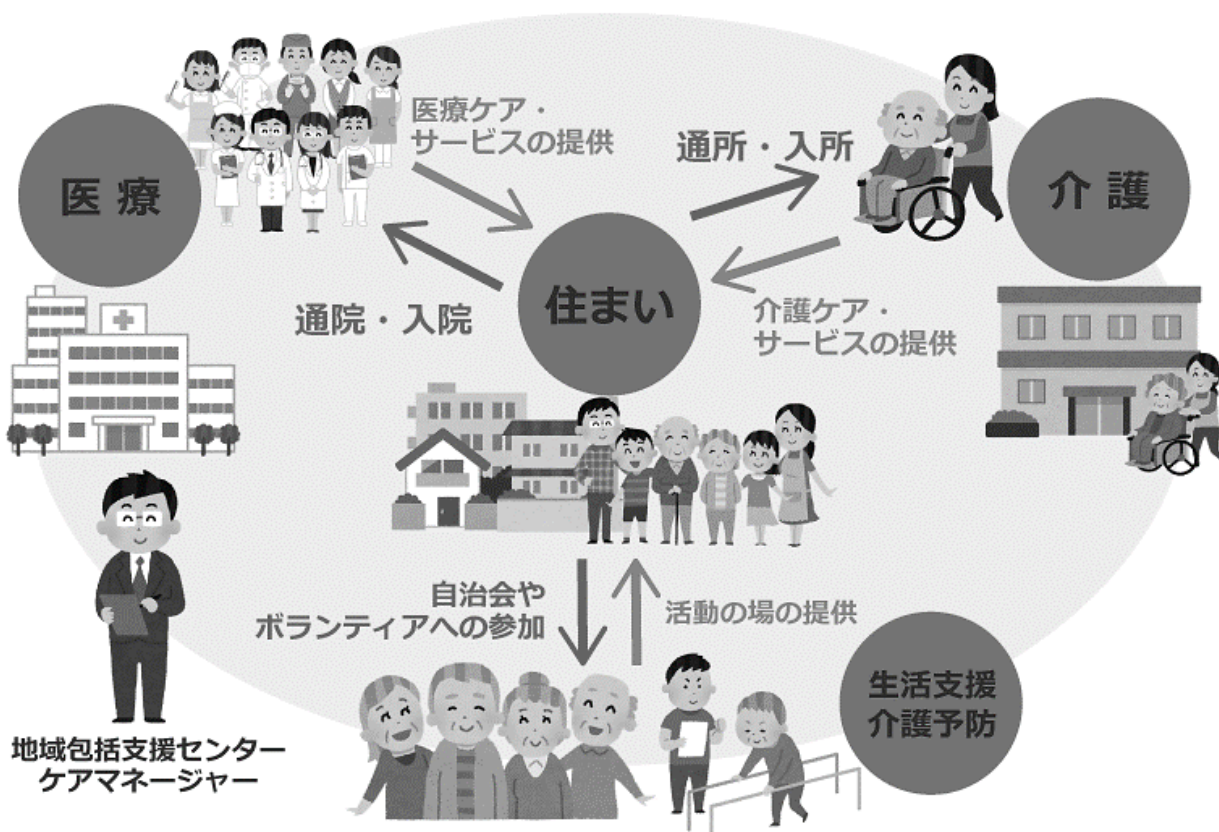


第4節 地域包括ケアシステムの推進

高齢者の有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう自ら介護予防に取り組む体制を構築するとともに、医療、介護等の関係機関との連携強化を進めます。

また、地域で共に支え合い、高齢者が生きがいをもって生活できるまちづくりに向け、地域力を生かした支え合い活動の推進により高齢者の社会参加を促進するなど、医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保される体制の推進に努めます。

地域包括ケアシステムのイメージ



出展:HP みんなの介護

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

第1節 生きがいつくりの推進

高齢者が健康でいきいきとした生活ができるよう高齢者が自らの経験と知識を活かして、地域づくりの担い手として活躍できるよう社会参加活動を支援します。

事業1 生きがいつくりの推進

(1) 老人クラブ活動への支援

ア 事業の内容

「健康」、「友愛」、「奉仕」の全国三大運動に基づき、仲間づくりを通して生きがいと健康づくり、生活を豊かにする活動と長年培ってきた知識と経験を生かして、地域の団体と協力し、地域を豊かにする社会活動に取り組む老人クラブ活動を支援していきます。

イ 今後の方策

- (ア) いつまでも自立した生活、生きがいのある生活が実現できるよう老人クラブにおいて健康づくり活動や生きがいつくり事業などの活動が活発化するように支援を継続します。
- (イ) 支え合い社会の構築に向け、元気なうちは地域の支える側となるよう地域の団体と協力し、友愛訪問、見守り活動、生活支援活動などの友愛活動の取り組みの推進を支援していきます。
- (ウ) 高齢社会に向け仲間の輪を広げるために、若い高齢者の加入が増えるよう支援していきます。また、女性部の力を結集し、組織の活性化を支援していきます。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)		令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)
クラブ数	140クラブ	134クラブ	128クラブ	130クラブ	132クラブ	134クラブ	135クラブ	135クラブ
会員数	5,915人	5,512人	5,117人	5,130人	5,140人	5,150人	5,160人	5,160人

※ 令和5年度見込みは、令和5年度末（令和6年3月末）の推計値です（以下同じ）。

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

(2) 世代間交流事業

ア 事業の内容

保育所等では年間行事に高齢者を招待し、交流を深めつつ、幼少期から高齢者を大切にする気持ちを育て、小・中学校においては高齢者との交流をはじめとした「福祉の心」を育てるための実践的な教育活動を実施し、また社会教育においては公民館活動を中心に「地域ふれあい講座」などを実施し、体験を通して世代間の相互理解を促進します。

イ 今後の方策

(7) 幼稚園・保育所（園）・認定こども園・こども館・地域子育て支援センター

年間行事や活動に、高齢者を招待し交流を図ります。また、児童も老人ホーム訪問や地区敬老会等に参加し、ふれあいの場を広げます。

(イ) 小・中学校

「福祉の心」をはぐくむため、ふれあい活動やボランティア活動などの体験的な場の設定を推進します。

(ウ) 生涯学習課、公民館

「地域ふれあい講座」や「高齢者学級」等を通して、高齢者の持つ豊かな知識・経験・技術を活用し、伝統文化の伝承活動、生きがいつくりや社会参加等、地域の活性化を図る取り組みを推進します。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
地域ふれあい講座	2講座	6講座	7講座	7講座	7講座	7講座	7講座	7講座

(3) 高齢者学級

ア 事業の内容

趣味、教養、健康、地域活動など、心豊かな生活や生きがいに関する内容の学習を行うとともに、世代間交流活動や受講者相互の交流を通して、高齢者の持つ豊かな知識、経験、技術を地域社会に活かし、意欲的な社会参加を図ります。

イ 今後の方策

各公民館において、毎年度 19 教室を実施します。家庭生活、社会生活をより快適にするための知識・技術に関するものや、現代的課題に関する学習や実習、さらに参加者相互の交流と仲間づくりなどのプログラムを実施します。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
高齢者学級	20 教室	19 教室	19 教室	19 教室	19 教室	19 教室	19 教室	19 教室

(4) ふれあいいきいきサロン

ア 事業の内容

高齢者が閉じこもることなく近隣の人々とふれあい、生きがいを持って生活が送れるようにするため、ふれあいいきいきサロンの開設を支援します。

イ 今後の方策

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと過ごすことができるよう人が集い通う場所としてサロン活動への支援を進めます。また、サロン未設置の町内については、開設にむけて働きかけを行っていきます。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
サロン設置数	171 サロン	163 サロン	166 サロン	168 サロン	170 サロン	172 サロン	174 サロン	174 サロン

(5) 老人福祉センターの機能の充実

「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりを目指し、地域の居場所として親しまれる施設としての今後の在り方について、研究していきます。

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

事業2 安全で安心な暮らしの確保

(1) 交通安全教室

ア 事業の内容

高齢者人口の増加、高齢者免許人口の増加等により近年、高齢者が犠牲となる交通事故が高い割合で推移しています。

高齢者を交通事故から守るため、交通安全情報の提供とともに、参加・体験型の交通安全教室を足利警察署との連携のもとに積極的に開催します。

イ 今後の方策

老人クラブを対象とした交通安全教室を、全22地区で開催することを目標とするとともに、各公民館での交通安全教室開催の協力依頼、その他催しに際しての交通安全ワンポイントアドバイスを行うなど、受講者の拡大を図ります。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
交通安全教室の開催数	3回	12回	27回	22回	22回	22回	22回	22回
交通安全教室の参加者数	164人	442人	669人	500人	500人	500人	500人	500人

(2) 高齢者への消費者啓発

ア 事業の内容

高齢者を狙った悪質商法を始めとする消費者トラブルや被害を防ぎ、より安全で安心な消費生活を推進するため、公民館等と連携し学習、啓発活動を実施します。

イ 今後の方策

情報の高度化、商品・サービスの多様化が進む中で、高齢者の暮らしに役立つ情報の提供と被害を未然に防ぐための啓発に努めます。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
高齢者消費者啓発講座参加者数	137人	252人	910人	900人	900人	900人	900人	900人

事業3 就業機会の拡大

(1) シルバー人材センターへの支援

ア 事業の内容

シルバー人材センターは、働く意欲と能力を持った高齢者が積極的な就業などを通じて、生きがいのある生活の実現及び地域社会の福祉の向上と活性化に貢献することを目的とし「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、会員の総意と主体的な参画により運営する組織です。

高齢者のための「生きがいづくり」と「健康づくり」の基盤拡大を推進するとともに、地域社会に対するより良いサービスが提供できるよう支援します。

イ 今後の方策

平成24年(2012)4月から公益社団法人としてスタートしたシルバー人材センターは、高齢者の生きがいづくりについて一層の役割を担うこととなります。そこで、今後もシルバー人材センターにおける高齢者の就業機会の開拓や就業能力の向上などの強化を支援するために適切な指導や助言等をしていきます。

会員数の確保と就業開拓の取り組みを一層強化し、介護予防・日常生活支援総合事業への参入や暮らしのお手伝い事業などで、会員が地域社会の担い手として活躍できる環境を整備するために連携していきます。

高齢者の就業機会の拡大や安定的な就業の確保に向けた啓発活動を推進します。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
会員数	580人	545人	580人	585人	590人	595人	640人	640人
就業延人員	34,836人	32,116人	34,450人	36,790人	39,130人	41,470人	42,000人	42,000人

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

(2) 高齢者就業機会拡大への支援

ア 事業の内容

高齢者が意欲と能力のある限り働き続けられる社会を目指すために、ハローワークや栃木県などと連携し、就労に関する巡回相談会やセミナーなどを開設するとともに、就業に必要な能力を身に付けてもらえるよう職業訓練情報などを提供しています。

また、事業主に対しては、国の支援制度などの周知を通して、高齢者雇用の働きかけを行っています。

イ 今後の方策

高齢者の持つ経験や知識などを生かせる就労環境の整備や働くことを希望する高齢者がスキルアップできる職業訓練情報の提供などに取り組んでいきます。

第2節 介護予防の推進

いつまでも自分らしく生活していくために、自分に合った介護予防を継続していただけるような地域づくりを進めます。

事業1 介護予防事業の推進（介護予防・日常生活支援総合事業）

(1) 一般介護予防

ア 対象者把握事業

⑦ 事業の内容

閉じこもり等の支援を要する高齢者を、地域のネットワーク等を活用して把握し、介護予防活動につなげます。

(イ) 今後の方策

早期に介護予防活動につなげられるよう地域のネットワークを活用し、効果的・効率的に対象者の把握に努めます。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
対象者 把握数	462人	475人	700人	800人	800人	800人	800人	800人

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

イ 介護予防普及啓発事業

(ア) 事業の内容

高齢者が介護予防に向けた主体的な取り組みを継続して実践できるよう健康教育、健康相談、生き生き元気のつどい（介護予防教室）や高齢者元気アップ教室（高齢者向けの運動教室）等の取り組みを通じて介護予防に関する知識の普及啓発を行います。

(イ) 今後の方策

健康相談や地域住民との協働による健康教育等を通じて、高齢者が心身の機能を維持向上するため、主体的に介護予防に取り組む必要性があることを普及啓発し、取り組みを促します。

また、介護予防の推進を図るための地域づくりを住民と協働で進めていきます。

【実施状況及び見込量】

	実 績			見 込	計 画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)		令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
健康教育 (延回数)	127回	39回	40回	50回	50回	50回	50回	50回	50回
健康相談 (延回数)	18回	14回	24回	24回	24回	24回	24回	24回	24回
生き生き元気のつどい設置数	12か所	12か所	10か所	10か所	10か所	10か所	10か所	10か所	10か所
生き生き元気出前講座数	22回	46回	50回	80回	80回	80回	80回	80回	80回
高齢者元気アップ教室参加者数(実)	23人	35人	23人	60人	60人	60人	60人	60人	60人
地域元気アップ教室参加者数(延)	574人	319人	100人	440人	440人	440人	440人	440人	440人

ウ 地域介護予防活動支援事業

(ア) 事業の内容

地域での介護予防活動の充実を目指し、高齢者が身近な場所で誰でも参加できる住民が主体の介護予防等の活動（ふれあいいきいきサロン（第4章第1節）・元気アップサークル等）が行えるよう支援をします。また、介護予防活動の支え手である「ささえ愛ボランティア」や「元気アップサポーター」等の養成や支援を行います。

(イ) 今後の方策

介護予防活動が継続的に拡大していくよう支援します。また、高齢者の潜在能力を活かし、介護予防や生活支援の支え手として活躍できるよう支援します。

【実施状況及び見込量】

	実 績		見 込	計 画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
ささえ愛ボランティア養成講座修了者数	8人	3人	20人	20人	20人	20人	20人	20人
元気アップサポーター養成講座修了者数		12人	20人	20人	20人	20人	20人	20人
たかろばサポーター養成講座修了者数	53人	16人	50人	50人	50人	50人	50人	50人
ささえ愛ボランティアポイント事業活動者数	120人	117人	120人	130人	140人	150人	150人	150人
ささえ愛ボランティア活動者数	56人	46人	50人	55人	60人	65人	65人	65人
元気アップサポーター活動者数	75人	79人	80人	85人	90人	95人	95人	95人
たかろばサポーター活動者数	35人	38人	40人	45人	50人	55人	55人	55人
元気アップサークル数	159サークル	161サークル	165サークル	170サークル	175サークル	180サークル	190サークル	190サークル

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

エ 地域リハビリテーション活動支援事業

(ア) 事業の内容

介護予防の取り組みを強化するためにサービス提供事業者、住民主体の活動の場等へリハビリテーション専門職等を派遣し、支援者や地域のリーダー等に対し介護予防に対する技術的助言を行います。

(イ) 今後の方策

高齢者本人を取り巻く支援者が、効果的な重症化予防や自立支援に向けた取り組みができるよう支援します。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
派遣回数	1回	2回	2回	3回	4回	5回	10回	10回

(2) 介護予防・生活支援サービス事業（詳細は第5章第2節）

ア 事業の内容

要支援者等が自身の有する能力を最大限活かせるよう適切なケアプランを提供し、多様な訪問型・通所型サービスを提供します。

イ 今後の方策

- (ア) 住民自らが、加齢に伴う心身の変化を自覚し、機能の維持や向上に取り組めるよう支援します。
- (イ) サービス提供事業者が効果的な重症化予防や自立支援に取り組めるよう支援します。
- (ウ) 多様な支援方法から、本人が状態に応じた方法を選択できるよう支援します。これによりサービス事業から住民主体の通いの場への移行や相互利用を推進します。

事業2 保険事業との一体化

○ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進

介護予防を進めるに当たり、運動、口腔、栄養、社会参加などの観点から、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を推進し、高齢者が身近な場所で健康づくりに参加でき、また、高齢者のフレイル状態を把握したうえで、適切な医療サービス等につなげることによって、疾病予防・重症化予防の促進を目指します。

第3節 在宅福祉サービスの推進

在宅での自立した生活を支えるために、援助の必要な高齢者やその家族、ひとり暮らしの高齢者等に対し在宅福祉サービスを推進します。

事業1 自立生活支援サービスの推進

(1) 短期入所事業

ア 事業の内容

要介護認定又は要支援認定を受けていない高齢者が、心身機能の低下等により緊急に介護が必要とされるときに一時的に施設に入所することにより、高齢者の状態の悪化を防止するとともにその家族の負担軽減を図ります。

イ 今後の方策

今後も一時的に養護が必要となるケースが見込まれることから、必要なときに適切に利用できるように事業を推進します。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
短期入所事業 利用日数	51日	173日	234日	300日	300日	300日	300日	300日

(2) 高齢者暮らしのお手伝い事業

ア 事業の内容

ひとり暮らし高齢者等の日常生活の援助が必要な方に外出の付き添い、買物、掃除、庭の手入れなど軽易な日常生活上の援助を行うサービスを提供します。

イ 今後の方策

ひとり暮らし高齢者等が在宅で自立した生活が送れるよう軽易な日常生活上の援助として事業を推進します。

【実施状況及び見込量】

(延べ人数)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
暮らしのお 手伝い事業 利用者数	251人	234人	312人	320人	330人	350人	360人	360人

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

(3) 愛のひと声事業

ア 事業の内容

ひとり暮らし高齢者の安否の確認や孤独感の解消を図るため、高齢者に声を掛けながら乳酸菌飲料を配達します。

イ 今後の方策

ひとり暮らし高齢者が孤独感を感じることなく安心して暮らせるよう高齢者の安否を確認する手段として事業を推進します。

【実施状況及び見込量】

	実 績		見 込	計 画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
愛のひと声事業利用者数	1,795人	1,752人	1,700人	1,700人	1,700人	1,700人	1,700人	1,700人

(4) 寝具乾燥事業

ア 事業の内容

ひとり暮らしや高齢者世帯等に対し、寝具類の乾燥サービスを提供します。

イ 今後の方策

ひとり暮らしや高齢者世帯等に対して、寝具類の衛生管理を図り、在宅での健康的な生活が確保できるよう推進します。

【実施状況及び見込量】

	実 績		見 込	計 画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
寝具乾燥事業利用枚数	340枚	343枚	329枚	300枚	300枚	300枚	300枚	300枚

(5) 安心相談システム事業

ア 事業の内容

ひとり暮らし高齢者等に対して、健康相談や緊急時に通報ができる専用装置を設置し、急病等の緊急事態に警備員による駆け付けなど、迅速な対応ができる連絡・援助体制を築きます。

イ 今後の方策

ひとり暮らし高齢者等の日常生活における安全の確保と精神的な不安の解消を図るため、今後も継続してシステムの運用に努めます。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
安心相談システム設置世帯数	796世帯	620世帯	800世帯	900世帯	900世帯	900世帯	900世帯	900世帯

*令和3（2021）年度は旧システムの緊急通報システムの設置世帯数

(6) 日常生活用具給付等事業

ア 事業の内容

ひとり暮らし高齢者等に対して、日常生活に必要な用具の給付等を行います。

イ 今後の方策

在宅での自立した生活を支えるため、今後も継続してひとり暮らし高齢者等の生活支援として事業を推進します。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
補聴器	2件	5件	1件	5件	5件	5件	5件	5件
火災警報器	1件	1件	1件	2件	2件	2件	2件	2件
電磁調理器	6件	3件	2件	3件	3件	3件	3件	3件
白内障特殊眼鏡等	1件	0件	1件	1件	1件	1件	1件	1件

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

(7) 高齢者専用住宅生活援助員派遣事業

ア 事業の内容

市営の高齢者専用住宅に、生活相談や生活支援などを行う生活援助員を派遣します。

イ 今後の方策

高齢者の地域における自立した生活を継続させるため、市営の高齢者専用住宅に対する生活援助員の派遣事業を継続していきます。

【実施状況及び見込量】

	実 績		見 込	計 画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
生活援助員 派遣数	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人

第4節 地域における支え合いの推進

ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加する中、高齢者が住み慣れた地域で継続して生活できるよう地域力を生かした支え合いを推進するとともに地域の支援体制の充実を図ります。

事業1 生活支援体制整備の推進

(1) 協議体の実施

ア 事業の内容

協議体として地域の様々な関係機関・団体等による話し合いの場を活用します。生活支援サービスの充実を図るための情報共有や意見交換を行いながら、地域の支え合いづくりを推進します。

イ 今後の方策

地区自治会連合会の区域を対象範囲とする第2層協議体の設置を進め、市全域を対象範囲とする第1層協議体との連動を図ります。

【第2層協議体設置数】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)		令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)
第2層 協議体数	12	12	14	15	16	17	22	22

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

(2) 生活支援コーディネーターの配置

ア 事業の内容

生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、地域に不足するサービス等の資源開発や関係者間の情報共有、地域のニーズとサービス提供主体の活動のマッチング等のコーディネート業務を行う、コーディネーターを配置します。

イ 今後の方策

市全域を活動範囲とする第1層生活支援コーディネーターと原則、日常生活圏域を活動範囲とする第2層生活支援コーディネーターの配置を進めます。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
第2層生活支援コーディネーターの配置数	2人	1人	2人	4人	6人	8人	14人	14人

事業2 足利市高齢者見守り事業(足利つながるネット)協力に関する協定

ア 事業の内容

高齢者が住み慣れた地域において、安全で安心な生活が送れるよう行政のみでなく、各種団体・民間事業者・地域住民等が連携し、日常生活や業務の中での見守りを通じて、高齢者の虐待・事故・詐欺被害・孤立死の防止、認知症等による行方不明者の早期発見・保護を進めます。

イ 今後の方策

新たな団体との協定の締結により地域における見守り活動の更なる充実を図ります。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
締結団体数	34団体	35団体	36団体	36団体	37団体	38団体	40団体	40団体

締結団体名（令和5（2023）年12月末現在）		
自治会長連絡協議会	民生委員児童委員連合会	老人クラブ連合会
足利市医師会	足利歯科医師会	足利薬剤師会
足利商工会議所	足利市農業協同組合	足利市消防団
社会福祉協議会	交通安全協会	両毛ヤクルト販売株式会社
足利ガス株式会社	協同組合足利給食センター	足利市建築業組合
株式会社 エコシティサービス	栃木県クリーニング業 環境衛生同業組合足利支部	あしかが「まちや」下町の 大工さんネットワーク
まごころ弁当足利店	よつ葉生活協同組合	ワタミ株式会社
とちぎコープ 生活協同組合	ヤマト運輸株式会社 栃木主管支店	東京電力パワーグリッド 株式会社栃木南支社
足利新聞組合	日本郵便株式会社 足利市内郵便局	株式会社 セブンイレブンジャパン
三金会金融団	シゲル商業株式会社	第一生命株式会社太田支社
両毛丸善株式会社	株式会社バイタルネット 佐野支店	足利市地区社会福祉協議会 長連絡協議会
株式会社ベルク	東邦薬品株式会社 佐野営業所	株式会社とりせん

事業3 権利擁護事業の推進

(1) 成年後見制度の利用促進

ア 事業の内容

成年後見制度の周知を行い、後見等が必要な高齢者に対し申立ての支援を行います。また、身寄りがない認知症高齢者等で成年後見制度の申立てができない場合は、本人に代わって市長が申立てを行います。

イ 今後の方策

成年後見制度の利用が必要な人が制度を利用できるよう成年後見制度の広報・普及活動等を行います。

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

(2) 成年後見サポートセンターの設置

ア 事業の内容

権利擁護支援の中核機関となる成年後見サポートセンターを設置し、成年後見制度の広報・普及啓発や制度利用に関する相談を受け付けます。

イ 今後の方策

地域連携ネットワークを構築し、福祉関係機関や司法関係者との連携を図ることにより多職種連携による権利擁護支援を推進します。

第5節 地域包括支援センターの機能強化

地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことによりその保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的としています。

地域包括ケアシステムの構築を推進するうえで、その機能強化は重要な課題です。

地域包括支援センターがその機能を発揮していくために、地域包括支援センターの事業について評価を行い、必要な機能強化を図ります。

事業1 包括的支援事業の実施

(1) 総合相談事業

ア 事業の内容

地域包括支援センターが高齢者のさまざまな相談を受け、訪問などで実態を把握し、介護・医療・福祉・保健等の必要なサービスにつなぎます。

イ 今後の方策

市民に地域包括支援センターが高齢者支援の総合相談窓口であることを周知し、適切な支援につながるよう総合相談事業を進めます。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)		令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)
総合相談 件数	9,062件	14,357件	20,337件	20,000件	20,000件	20,000件	20,000件	20,000件

(2) 介護支援専門員への支援

ア 事業の内容

介護保険サービス等を利用するための計画を作成する介護支援専門員が、個々の高齢者の状況や変化に応じて、介護保険のサービスや地域の社会資源を活用できるよう事例検討や情報交換等を行います。

イ 今後の方策

介護支援専門員が地域の関係機関と連携を取りながら、高齢者を支え、自立支援に向けた支援ができるよう地域包括支援センターが中心となり支援します。

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

【実施状況及び見込量】

	実 績		見 込	計 画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護支援 専門員情 報交換会 等開催数	16回	18回	16回	23回	23回	23回	23回	23回

事業2 地域ケア会議の実施

(1) 地域ケア会議（個別ケース検討）

ア 事業の内容

各地域包括支援センター圏域において、多職種参加のもと高齢者の自立支援に向けた個別ケース検討や支援困難な事例のケース検討を行います。

イ 今後の方策

目的に沿ったケース検討を継続することにより個別の課題解決と担当者レベルのネットワーク構築、地域課題の明確化等を進めます。

【実施状況及び見込量】

	実 績		見 込	計 画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
地域ケア 会議開催数	11回	25回	30回	35回	35回	35回	35回	35回
検討数	18件	60件	84件	91件	91件	91件	91件	91件

(2) 高齢者支援連携協力会議

ア 事業の内容

地域包括支援センター圏域において、民生委員や自治会、地区社会福祉協議会、介護支援専門員、介護サービス事業者、医療関係者などが集まり、地域の高齢者に関する情報共有や高齢者が抱える課題についての検討等を行います。

イ 今後の方策

高齢者の自立した生活を支援するため、多様な関係者が一堂に会し、会議を開催することにより関係団体相互のネットワーク強化を図るとともに高齢者を地域で支える支援体制づくりを行います。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
高齢者支援 連携協力会 議開催数	15回	23回	22回	29回	29回	29回	29回	29回

(3) 高齢者地域支え合い推進会議

ア 事業の内容

関係機関・団体の代表者等が集まり、地域ケア会議（個別ケース検討）や高齢者支援連携協力会議、協議体等から出された市レベルの課題や政策的な対応を必要とする課題について、検討を行います。

イ 今後の方策

地域の関係者の連携を強化し、市全域の地域課題の共有と事業化、政策形成に向けた検討、取り組みを進めます。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
高齢者地域 支え合い推 進会議開催 数	1回	1回	1回	2回	2回	2回	2回	2回

事業3 評価の実施

地域包括支援センターがその機能を発揮していくために、地域包括支援センターの事業について、市、地域包括支援センターで評価を行い、介護保険等運営協議会等で協議しながら、必要な機能強化を図ります。

第6節 在宅医療・介護連携の推進

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで続けることができるよう在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療・介護関係者の資質の向上や連携に必要な機会を確保します。

切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

(1) 現状分析・課題抽出・施策立案

ア 事業の内容

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築に向け、関係団体等と協働しながら現状の分析、課題の抽出、施策の立案を行います。

イ 今後の方策

地域の医療機関、介護事業所の機能等の社会資源及び在宅医療・介護サービス利用者の情報を把握、整理したうえで、医療・介護関係者の連携を支援する施策の立案等に活用します。また、必要な情報を提供することにより医療・介護関係者がそれぞれの役割を把握し連携を行い、市民が医療・介護につながりやすくなるようにします。

在宅医療・介護連携推進会議を開催し、在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策を検討します。

(2) 対応策の実施

ア 事業の内容

在宅医療・介護連携に必要な機会の確保、適切なサービス選択につながる市民の在宅医療と介護の理解の促進、医療・介護関係者の資質向上・相互理解と在宅医療・介護連携の理解の深化、医療・介護関係者間の円滑な情報共有等を実施します。

イ 今後の方策

医療・介護関係者が在宅医療・介護連携について相談できる窓口の設置や市民等が在宅医療と介護に関する理解を深め、在宅療養を必要とする人（家族）が適切なサービスを選択できるように普及啓発を実施します。

また、自らが望む医療やケアについて、前もって信頼できる人と繰り返し話し合い共有する取り組みである「人生会議（ACP）」に関する啓発を行います。

さらに、医療・介護関係者との協働・連携を深めるための研修等を実施します。

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

【実施状況及び見込量】

	実 績		見 込	計 画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
在宅医療・ 介護連携推進 会議開催数	2回	5回	6回	8回	8回	8回	8回	8回
在宅医療・ 介護に関する 事業の開催数	3回	2回	11回	10回	10回	10回	10回	10回

(3) 対応策の評価及び改善の実施

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を推進するため、目指すべき姿を設定し、PDCAサイクルに沿って事業をマネジメントしていきます。

第7節 認知症施策の推進

認知症の早期診断・早期対応のため、地域での医療や介護等との連携に努めます。加えて、認知症を正しく知るための普及啓発、本人及び家族の支援など、認知症高齢者（若年性認知症の方を含む）が地域で継続して生活できるよう多機関が連携した支援体制の構築を進めます。

事業1 認知症の理解と家族等の支援

(1) 認知症サポーター等養成

ア 事業の内容

地域住民が認知症を正しく理解し、認知症の人や家族へのさりげない応援者となる認知症サポーターを養成します。また、認知症サポーター養成講座を修了後、さらに知識を深めたい方を対象にたかろばサポーター（認知症上級サポーター）研修を実施します。修了後は「たかろばサポーターの会」として、施設やたかろばカフェ（認知症カフェ）、個人宅等で傾聴活動を実施します。

イ 今後の方策

地域・企業・学校等団体での養成講座の実施を推進し、認知症について正しい知識を持った認知症サポーターを増やします。また、たかろばサポーターが地域で活動できるよう支援します。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
認知症サポーター養成講座開催数	9回	18回	16回	50回	50回	50回	50回	50回
受講人数	461人	803人	700人	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人
たかろばサポーター数	73人	79人	86人	100人	100人	100人	100人	100人

(2) 認知症高齢者等見守り支援事業

ア 事業の内容

認知症などの理由により行方不明となる恐れのある在宅の高齢者等を介護している家族等に対し、見守り及び安否確認に有効な機能を有する機器の利用費用の一部を助成します。

イ 今後の方策

認知症高齢者等の事故防止及び安心した在宅介護の継続を目的に、事業の利用促進を図ります。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
利用件数		1件	2件	10件	10件	10件	10件	10件

事業2 認知症の早期診断・早期対応の取り組み

○ 認知症初期集中支援チームの配置

ア 事業の内容

認知症の人やその家族を訪問し、アセスメントや家族支援等を包括的・集中的に行い、適切な医療や介護につなげる認知症初期集中支援チームを地域包括支援センターに配置し、早期診断・早期対応のための支援を実施します。

イ 今後の方策

認知症早期診断・早期対応の重要性について周知します。また、認知症初期集中支援チームに関しても広く周知し、認知症が疑われ、適切な医療や介護につながっていない方に早期に介入できるよう努めます。また、適切な運用が行えるよう評価を行います。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
チーム設置数	7	7	7	7	7	7	7	7

第4章 いきいきとした自立生活を支援するまちづくり

事業3 地域での認知症に関する取り組み

(1) 認知症地域支援推進員の配置

ア 事業の内容

認知症地域支援推進員を配置し、医療・介護・地域のネットワーク構築や支援者の対応力向上、認知症の方や家族等への相談支援を行います。

イ 今後の方策

認知症の方や家族等を支える地域の支援体制を強化します。

(2) たかろばカフェの設置

ア 事業の内容

認知症の方及び家族、地域住民が気軽に集える場を提供します。また、専門職による認知症に関する情報提供や相談対応も行います。

イ 今後の方策

たかろばサポーターの協力を得て、利用者がより気軽に集える交流の場を増やしていきます。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
たかろば カフェ 設置数	1か所	1か所	2か所	7か所	7か所	7か所	7か所	7か所

(3) 若年性認知症支援ネットワークの構築

ア 事業の内容

認知症地域支援推進員が、状態に応じた適切な支援を行うため、関係機関と連携を図りネットワーク構築を目的とした勉強会を開催し、情報共有を図ります。

イ 今後の方策

医療、介護、障がい、司法、労働など多岐に渡る分野の支援者との連携を推進します。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
若年性認知症ネットワーク勉強会			1回	1回	1回	1回	1回	1回

(4) チームオレンジ事業

ア 事業の内容

認知症の人ができる限り地域の良い環境で、自分らしく暮らし続けることができるよう認知症の人やその家族の支援ニーズと支援をつなぐ仕組みを整備します。

イ 今後の方策

認知症地域支援推進員がチームオレンジコーディネーターとなり、本人と家族、医療機関、事業所、地域包括支援センター、キャラバンメイト、たかろばサポーター、認知症サポーターとともにチームオレンジとして「共生」の地域づくりを推進します。

【実施状況及び見込量】

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
設置チーム数				1	1	1	1	1

第8節 介護人材の育成・確保

今後も高齢化に伴い要介護認定者が増加し、将来介護人材が不足すると見込まれることから、栃木県や関係機関と連携し、介護人材の育成・確保に向け進めます。

また、ささえ愛ボランティア（第4章第2節参照）の養成などにより施設などのボランティアの育成に努めます。

事業1 介護人材の育成・確保に向けた取り組み

○ 介護に関する入門的研修の実施

(1) 事業の内容

地域における多様な人材を介護職への参入を促進するため、介護未経験者を対象とした介護に関する入門的研修（21時間程度）を実施します。また、福祉人材・研修センター等と連携し、研修修了者への就労支援を行います。

(2) 今後の方策

事業を継続し、介護人材の確保に努めます。

【実施状況】

	実 績			計 画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護に関する入門的研修開催数		1回	1回	2回	2回	2回	2回	1回
受講人数		12人	12人	20人	22人	24人	30人	15人

第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

第1節 介護サービス・介護予防サービスの推進

高齢者の増加とともに、高齢者のひとり暮らしや高齢者のみ世帯も増加しており、要介護状態になった場合、在宅での生活が困難になってくることが予想されます。

しかし、高齢者の多くは住み慣れた地域や在宅で生活し続けることを希望しており、こうした高齢者が安心して暮らすことができるよう必要なサービスを適切に利用できる環境整備が必要です。また、近年は有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等が増加しており、高齢者の住まいも多様化しています。

こうしたニーズを踏まえ高齢者ができる限り自立した生活ができ、重度化を防ぐような体制の整備に努めるとともに、在宅で介護が行える環境整備を推進します。

人口推計及び要介護認定者数の推計結果、さらに近年の利用実績から本計画期間並びに令和17（2035）年度及び令和22（2040）年度におけるサービス量を見込みました。

第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

1 居宅サービス・地域密着型サービス・施設サービスの見込量

		令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
居宅サービス						
訪問介護	回	235,152	240,605	246,299	287,215	285,691
訪問入浴介護	回	2,609	2,735	2,791	3,312	3,238
訪問看護	回	64,548	66,164	67,806	78,876	77,112
訪問リハビリテーション	回	4,834	4,834	5,208	5,910	5,657
居宅療養管理指導	人	8,808	9,036	9,264	10,848	10,608
通所介護	回	290,666	297,226	304,092	352,848	346,757
通所リハビリテーション	回	29,671	30,260	30,871	35,239	34,974
短期入所生活介護	日	107,590	109,783	113,095	133,003	129,764
短期入所療養介護	日	1,873	1,873	1,873	2,374	2,230
特定施設入居者生活介護	人	3,024	3,192	3,312	3,396	3,384
福祉用具貸与	人	26,328	26,952	27,588	32,076	32,256
特定福祉用具購入	人	396	408	408	480	468
住宅改修	人	360	384	384	444	384
居宅介護支援	人	41,004	41,916	42,864	49,488	49,392
地域密着型サービス						
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人	36	36	36	48	36
認知症対応型通所介護	回	14,544	14,821	15,349	17,507	16,662
小規模多機能型居宅介護	人	744	756	768	900	852
認知症対応型共同生活介護	人	1,692	1,704	1,740	2,064	2,016
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	人	2,400	2,400	2,400	2,688	2,652
看護小規模多機能型居宅介護	人	192	204	216	228	216
地域密着型通所介護	回	73,610	75,478	77,081	89,978	88,301
介護保険施設サービス						
介護老人福祉施設	人	7,524	7,560	7,596	7,800	7,680
介護老人保健施設	人	4,620	4,644	4,644	5,460	5,436
介護医療院	人	600	600	600	720	696
介護療養型医療施設	人					

※ 介護療養型医療施設は、令和6（2024）年3月末に廃止される予定です。

2 介護予防サービス・地域密着型介護予防サービスの見込量

		令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護予防サービス						
介護予防訪問入浴介護	回	72	72	72	72	72
介護予防訪問看護	回	16,590	16,865	17,064	18,866	17,936
介護予防訪問リハビリテーション	回	284	379	379	379	379
介護予防居宅療養管理指導	人	504	504	516	576	540
介護予防通所リハビリテーション	人	1,740	1,764	1,800	1,980	1,884
介護予防短期入所生活介護	日	1,254	1,254	1,308	1,464	1,386
介護予防短期入所療養介護	日	0	0	0	0	0
介護予防特定施設入居者生活介護	人	576	588	588	588	552
介護予防福祉用具貸与	人	8,976	9,132	9,288	10,244	9,732
介護予防特定福祉用具購入	人	216	216	216	252	240
住宅改修	人	252	252	264	288	252
介護予防支援	人	11,364	11,556	11,760	12,948	12,312
地域密着型介護予防サービス						
介護予防認知症対応型通所介護	回	470	470	529	588	470
介護予防小規模多機能型居宅介護	人	132	132	132	144	120
介護予防認知症対応型共同生活介護	人	12	12	12	0	0

3 在宅サービスの充実

在宅での日常生活における支援や機能訓練、医療ニーズに対応したサービスなどを提供します。

(1) 訪問介護

ア サービスの概要

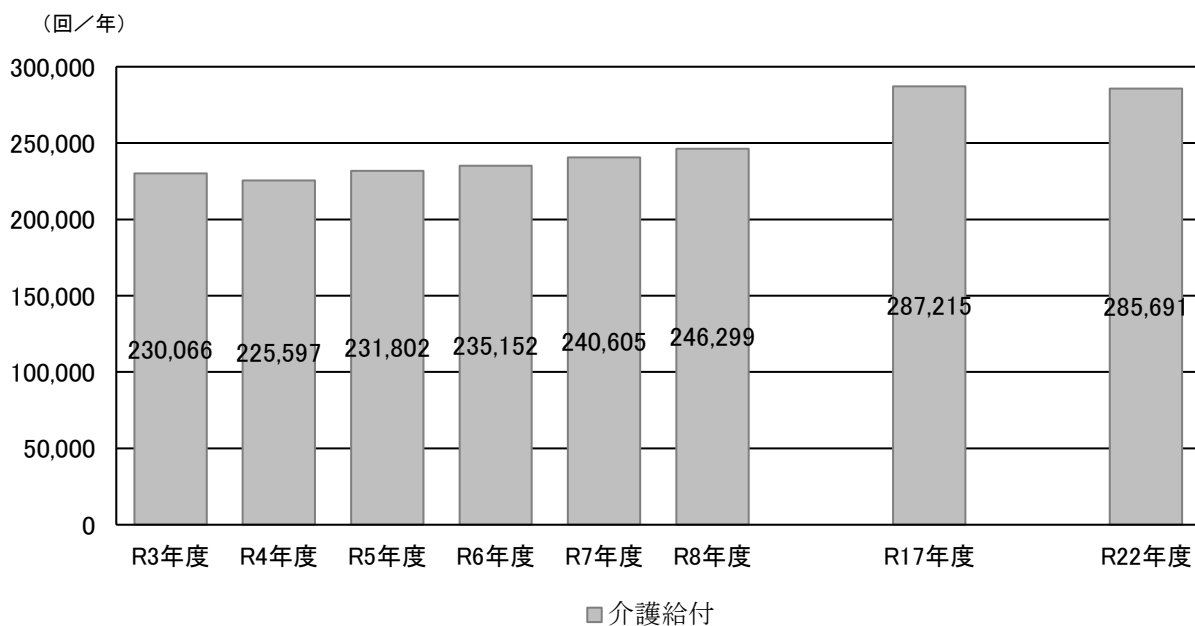
訪問介護員（ホームヘルパー）等が自宅を訪問し、入浴や排せつ、食事等の介護、調理や洗濯など日常生活の世話をを行うサービスです。

イ 給付の見込み

ここ数年は増加傾向にあり、今後、認定者数の増加に伴い、在宅での介護者が更に増加することから、利用者数が増加すると見込みました。

(回/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	230,066	225,597	231,802	235,152	240,605	246,299	287,215	285,691



(2) 訪問入浴介護

ア サービスの概要

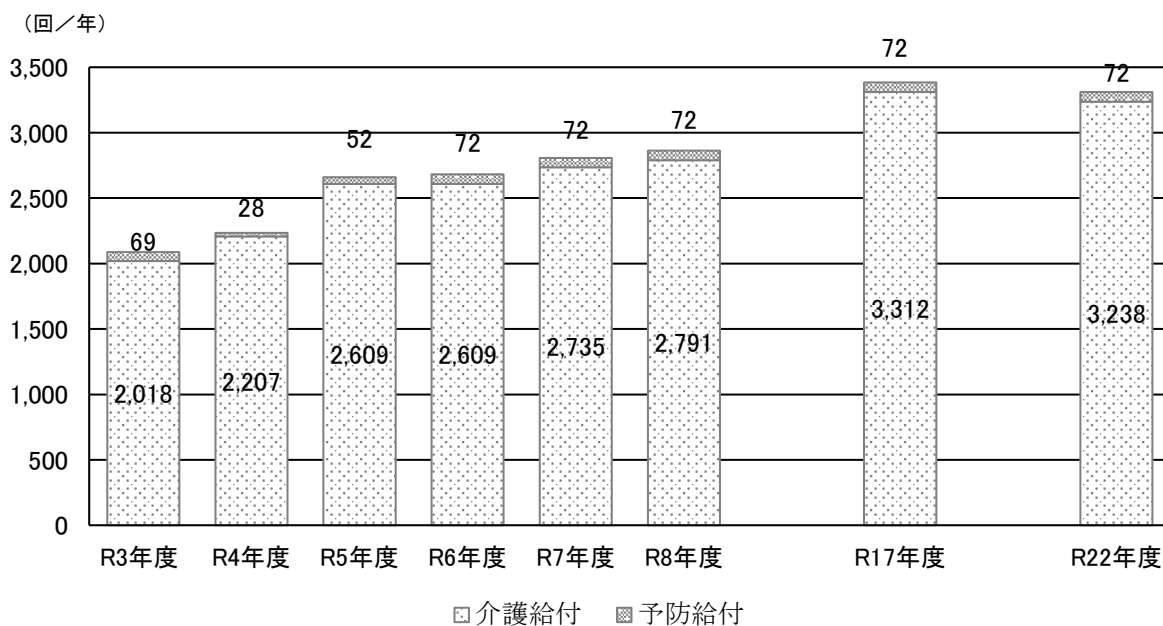
自宅へ移動入浴車等が訪問し、浴槽を家庭に持ち込んで入浴の介護を行うサービスです。

イ 給付の見込み

介護給付は増加傾向、予防給付は過去の実績を勘案し見込みました。

(回/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	2,018	2,207	2,609	2,609	2,735	2,791	3,312	3,238
予防給付	69	28	52	72	72	72	72	72



第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

(3) 訪問看護

ア サービスの概要

訪問看護ステーションや医療機関の看護師等が自宅を訪問し、療養上の世話や診療の補助を行うサービスです。

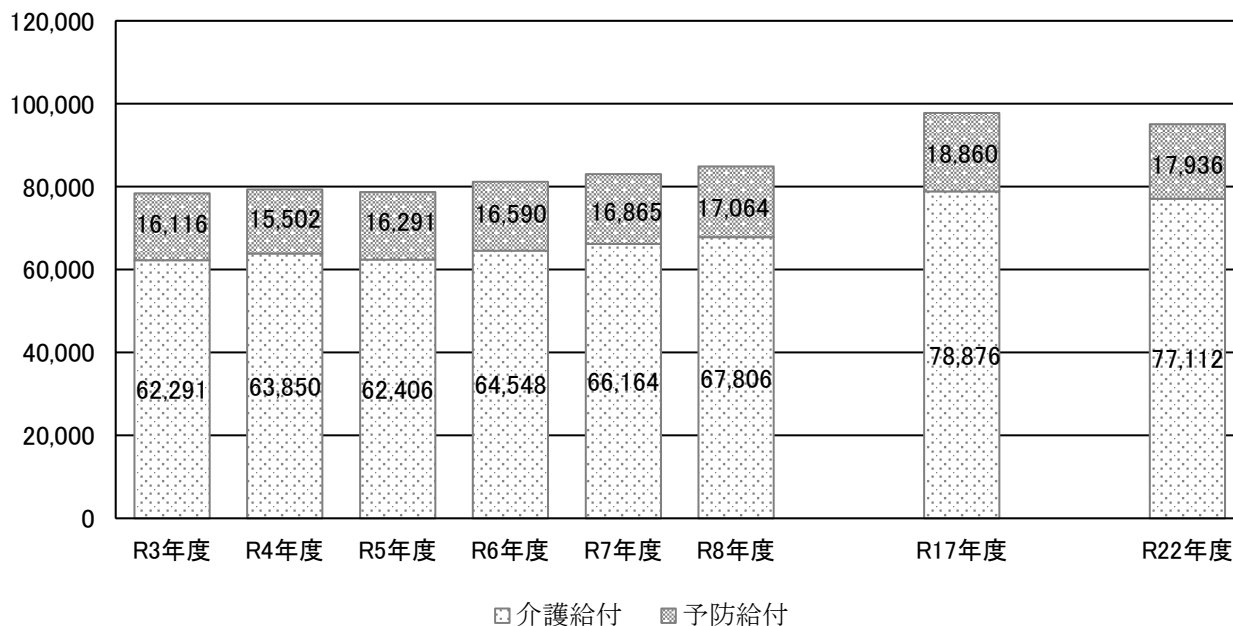
イ 給付の見込み

介護給付、予防給付ともここ数年横ばいですが、在宅介護の増加に伴い、微増を見込みました。

(回/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	62,291	63,850	62,406	64,548	66,164	67,806	78,876	77,112
予防給付	16,116	15,502	16,291	16,590	16,865	17,064	18,860	17,936

(回/年)



(4) 訪問リハビリテーション

ア サービスの概要

理学療法士や作業療法士等が自宅に訪問し、心身の機能の維持・回復や日常生活の自立援助のためのリハビリテーションを行うサービスです。

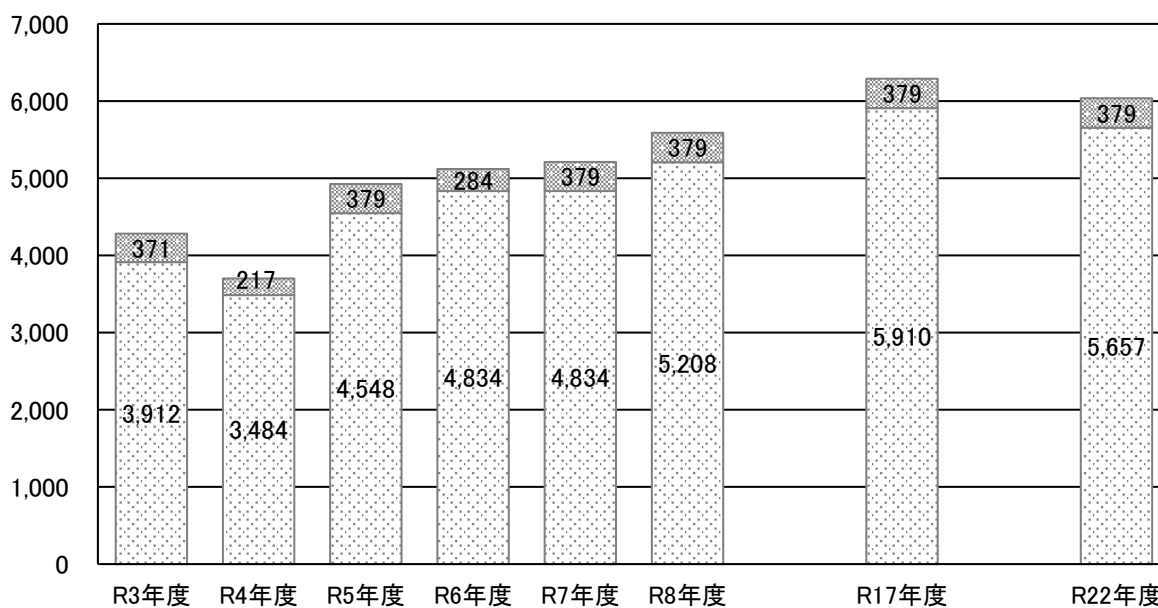
イ 給付の見込み

介護給付及び予防給付ともに利用が微増しており、今後もこの傾向は続くものと見込みました。

(回/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	3,912	3,484	4,548	4,834	4,834	5,208	5,910	5,657
予防給付	371	217	379	284	379	379	379	379

(回/年)



□ 介護給付 ■ 予防給付

第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

(5) 居宅療養管理指導

ア サービスの概要

医師、歯科医師、薬剤師等が自宅を訪問し療養上の管理と指導を行うものです。

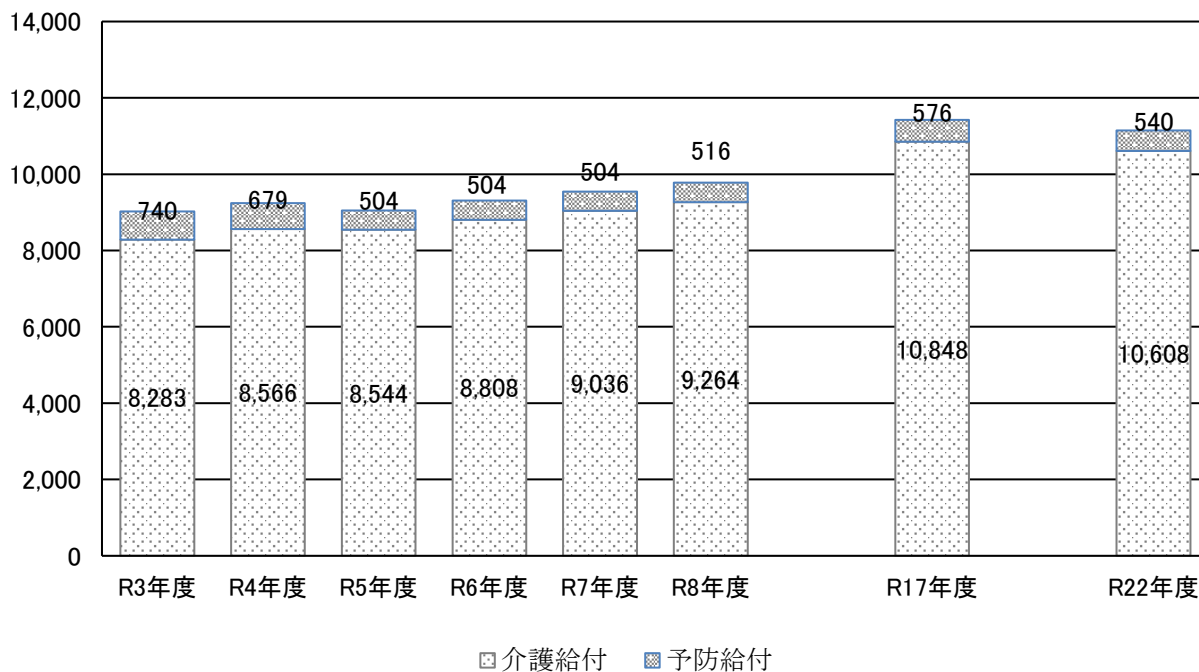
イ 給付の見込み

介護給付は、増加を見込みました。予防給付は、減少していますが今後増加になると見込みました。

(人/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	8,283	8,566	8,544	8,808	9,036	9,264	10,848	10,608
予防給付	740	679	504	504	504	516	576	540

(人/年)



(6) 通所介護

ア サービスの概要

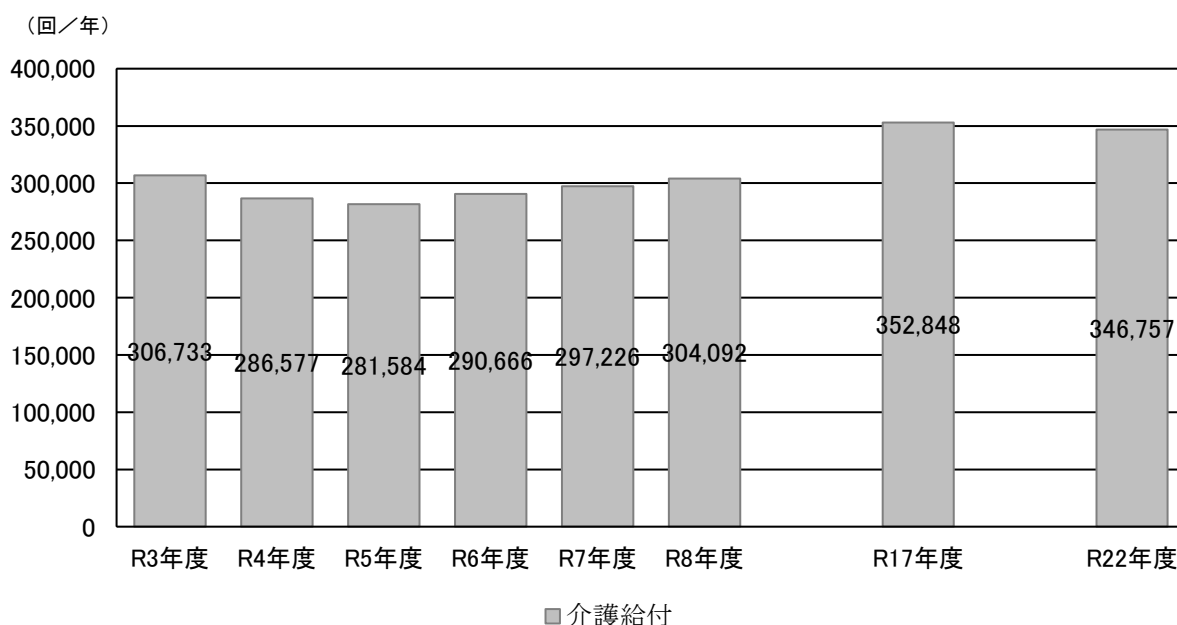
デイサービスセンター等に通い入浴・食事の提供と介護や生活上の相談や助言、健康状態の確認、日常生活動作訓練等を受けるサービスです。

イ 給付の見込み

横ばいとなっておりますが、利用ニーズが高いため今後は増加傾向が続くものと見込みました。

(回/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	306,733	286,577	281,584	290,666	297,226	304,092	352,848	346,757



(7) 通所リハビリテーション

ア サービスの概要

介護老人保健施設や医療機関等に通い、心身の機能の維持・回復を図り日常生活の自立を助けるためのリハビリテーションを受けるサービスです。

介護予防通所リハビリテーションでは、選択により運動器の機能向上や栄養改善・口腔機能の向上などのプログラムも提供します。

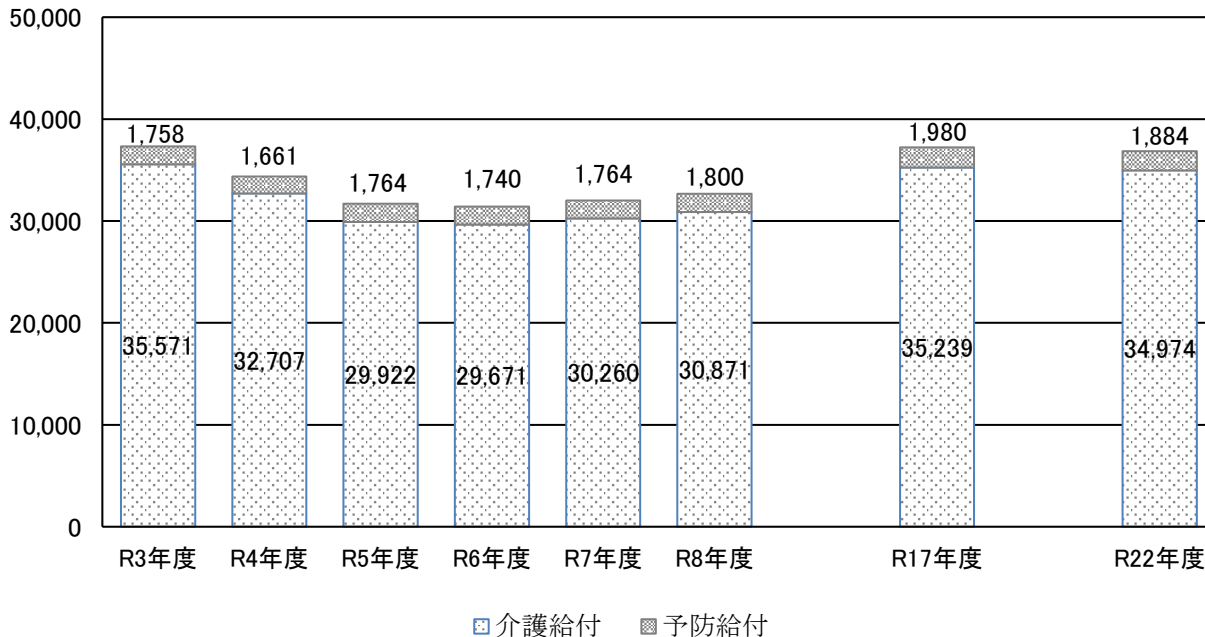
イ 給付の見込み

介護給付及び予防給付とも減少傾向にありましたが、その後は増加に転じると見込みました。

(介護給付 回/年、予防給付 人/年)

	実績			計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	35,571	32,707	29,922	29,671	30,260	30,871	35,239	34,974
予防給付	1,758	1,661	1,764	1,740	1,764	1,800	1,980	1,884

(回、人/年)



(8) 短期入所生活介護

ア サービスの概要

介護老人福祉施設等に短期間入所し、食事、入浴、排せつなどの介護サービスや機能訓練を受けるサービスです。

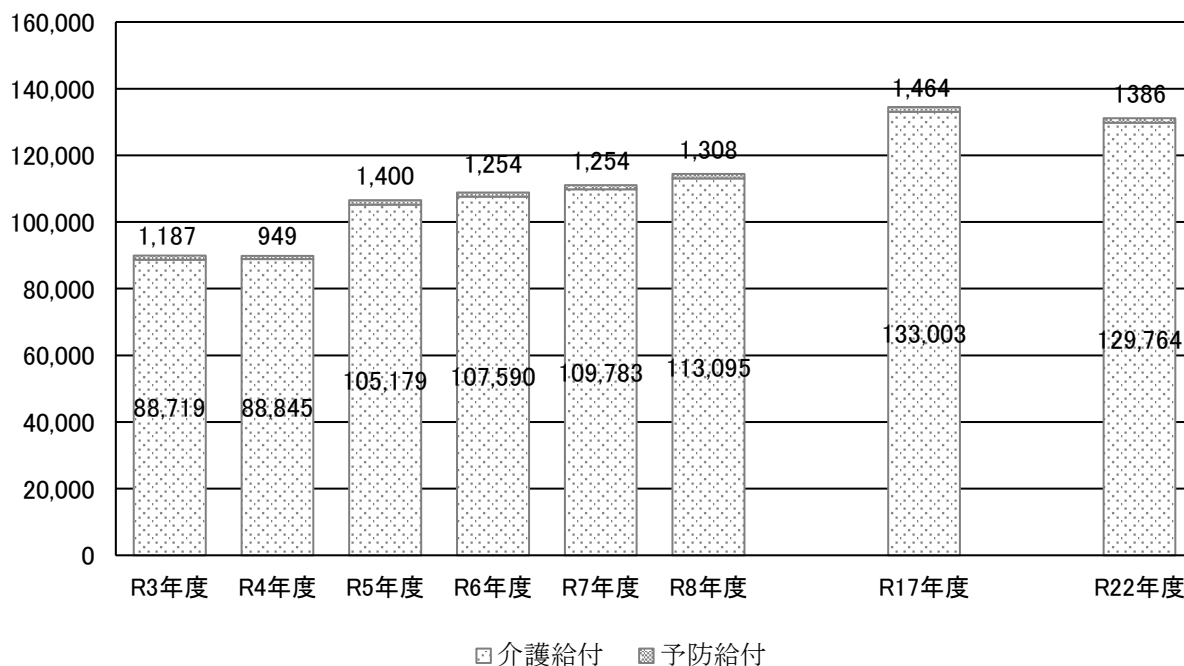
イ 給付の見込み

介護給付は増加を見込み、予防給付は横ばいを見込みました。

(日/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	88,719	88,845	105,179	107,590	109,783	113,095	133,003	129,764
予防給付	1,187	949	1,400	1,254	1,254	1,308	1,464	1,386

(日/年)



第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

(9) 短期入所療養介護

ア サービスの概要

介護老人保健施設や介護療養型医療施設に短期間入所し、医学的管理のもとに看護や介護、機能訓練等を受けるサービスです。

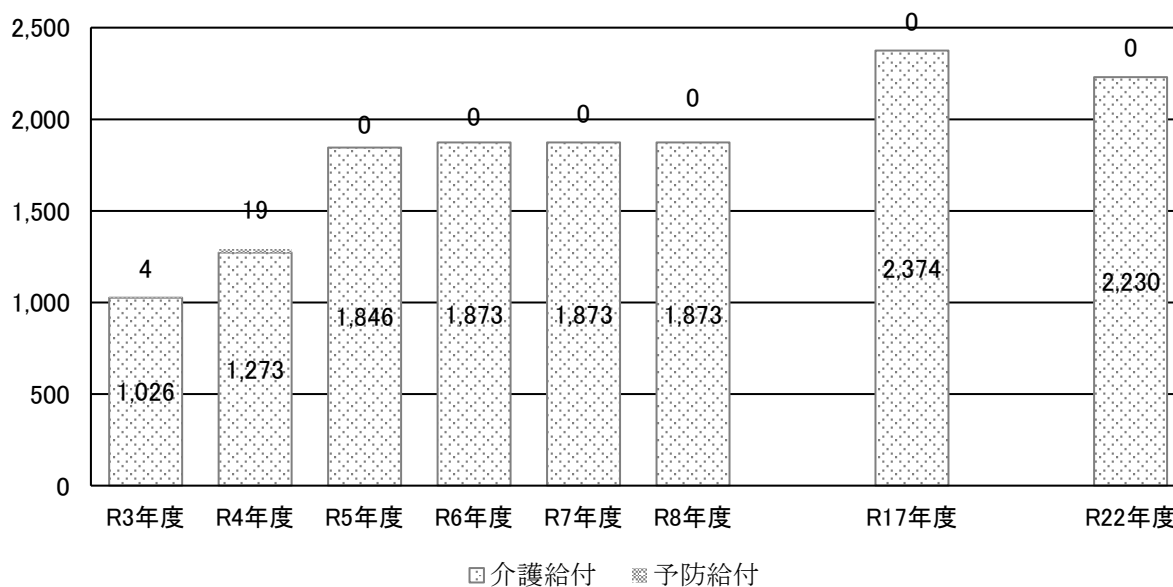
イ 給付の見込み

介護給付は、今後横ばいになると見込みました。予防給付は実績が少ないため、計画値を見込みませんでした。

(日/年)

	実 績		見 込	計 画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	1,026	1,273	1,846	1,873	1,873	1,873	2,374	2,230
予防給付	4	19	0	0	0	0	0	0

(日/年)



(10) 特定施設入居者生活介護

ア サービスの概要

介護保険法に基づく指定を受けた有料老人ホーム等で、一定の計画に基づいて提供される入浴や排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練を受けるサービスです。

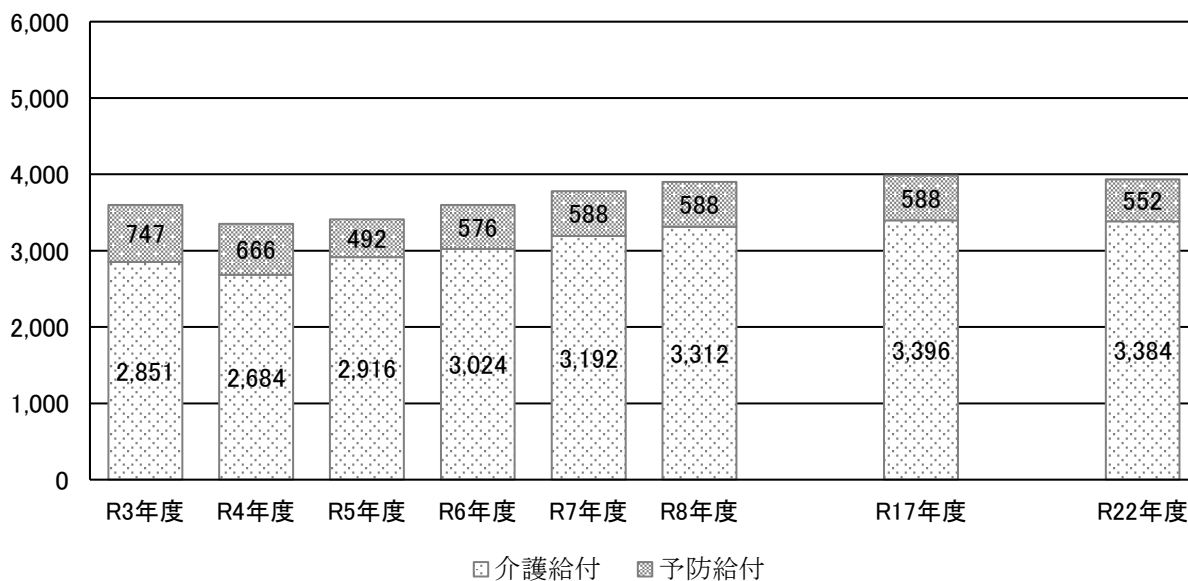
イ 給付の見込み

介護給付及び予防給付とも施設整備の予定がないことから横ばいを見込みました。

(人/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	2,851	2,684	2,916	3,024	3,192	3,312	3,396	3,384
予防給付	747	666	492	576	588	588	588	552

(人/年)



第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

(11) 福祉用具貸与

ア サービスの概要

日常生活上の便宜を図る用具や機能訓練のための用具を貸与するサービスです。

なお、利用者の状態からみて使用が想定しにくい福祉用具については、保険給付対象外になります。

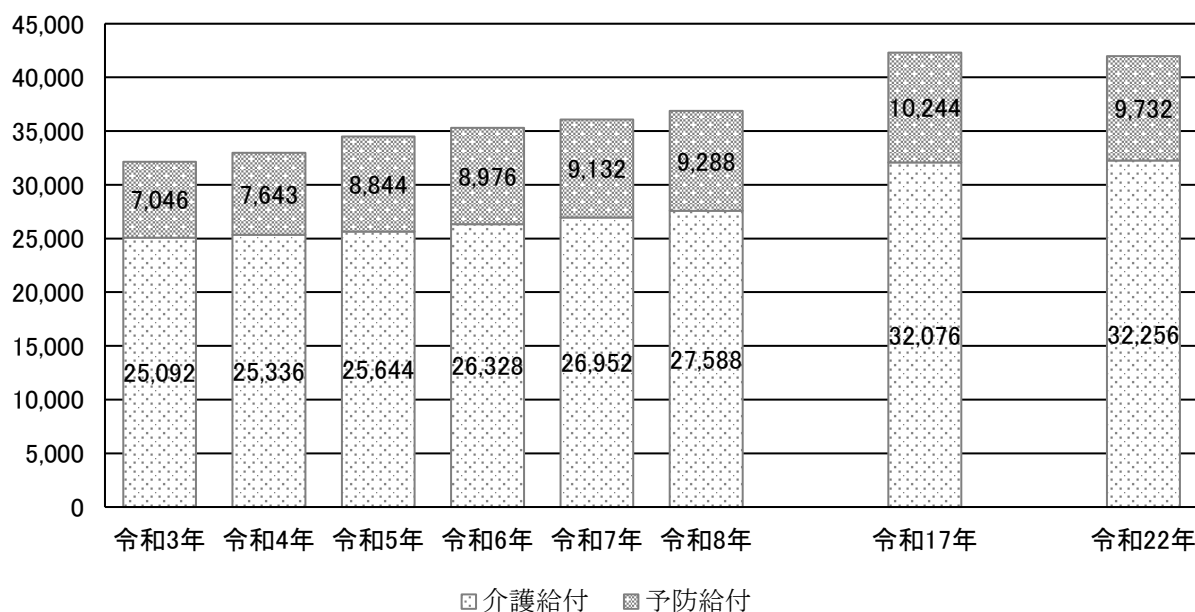
イ 給付の見込み

介護給付及び予防給付ともに年々利用者が増加しており、今後も増加傾向が続くと見込みました。

(人/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	25,092	25,336	25,644	26,328	26,952	27,588	32,076	32,256
予防給付	7,046	7,643	8,844	8,976	9,132	9,288	10,244	9,732

(人/年)



(12) 福祉用具購入

ア サービスの概要

福祉用具のうち、貸与になじまない入浴や排せつのための用具の購入費を支給するサービスです。

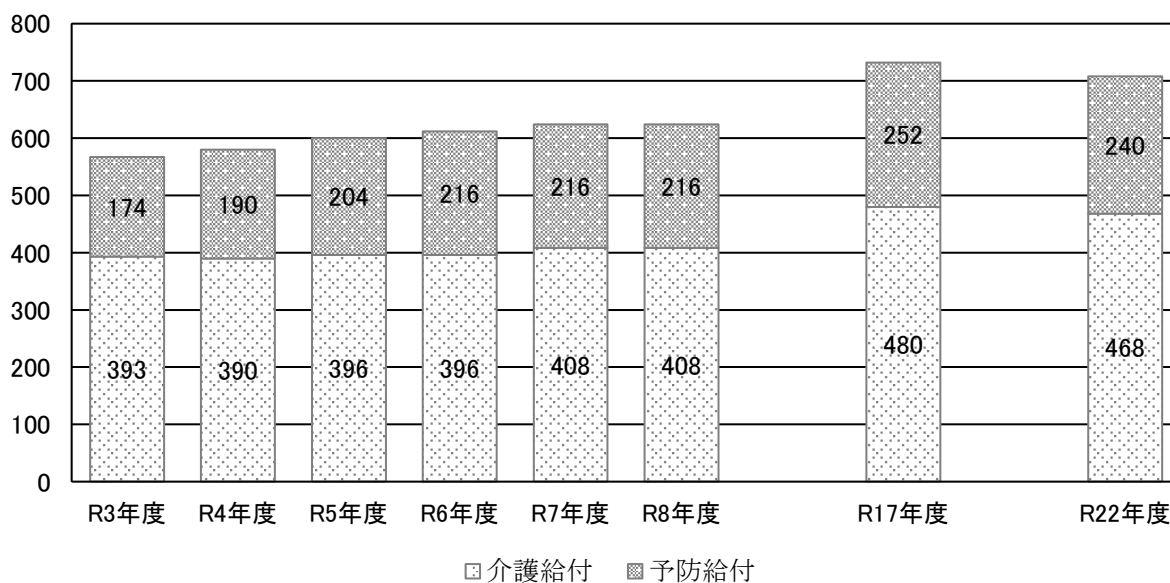
イ 給付の見込み

介護給付及び予防給付ともに年により実績にばらつきがありますが、今後とも同様と見込みました。

(人/年)

	実 績		見 込	計 画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	393	390	396	396	408	408	480	468
予防給付	174	190	204	216	216	216	252	240

(人/年)



第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

(13) 住宅改修

ア サービスの概要

手すりの取り付けや段差解消、洋式便器への取り替えなどの住宅改修を行った場合、その費用の一部を補助するサービスです。

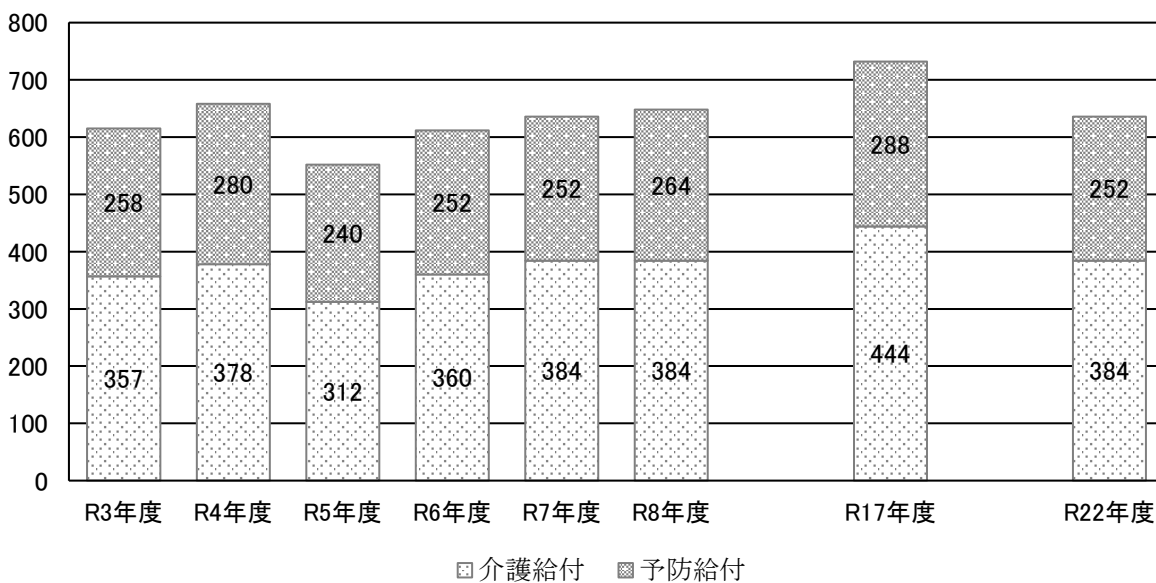
イ 給付の見込み

介護給付及び予防給付ともに実績にばらつきがありますが、今後の要介護認定者数及び要支援認定者数を考慮して見込みました。

(人/年)

	実 績		見 込	計 画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	357	378	312	360	384	384	444	384
予防給付	258	280	240	252	252	264	288	252

(人/年)



(14) 居宅介護支援・介護予防支援

ア サービスの概要

居宅介護支援は、介護サービス等を適切に利用できるように、心身の状況・環境・本人や家族の希望を受けて、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、各サービス事業者等との連絡・調整を行うサービスです。

介護予防支援は、本人ができることを共に発見し、本人の主体的な活動と参加意欲を高めるために必要な介護予防サービスを提供するための計画（介護予防サービス計画）の作成や各サービス事業者等との連絡・調整を行うサービスです。

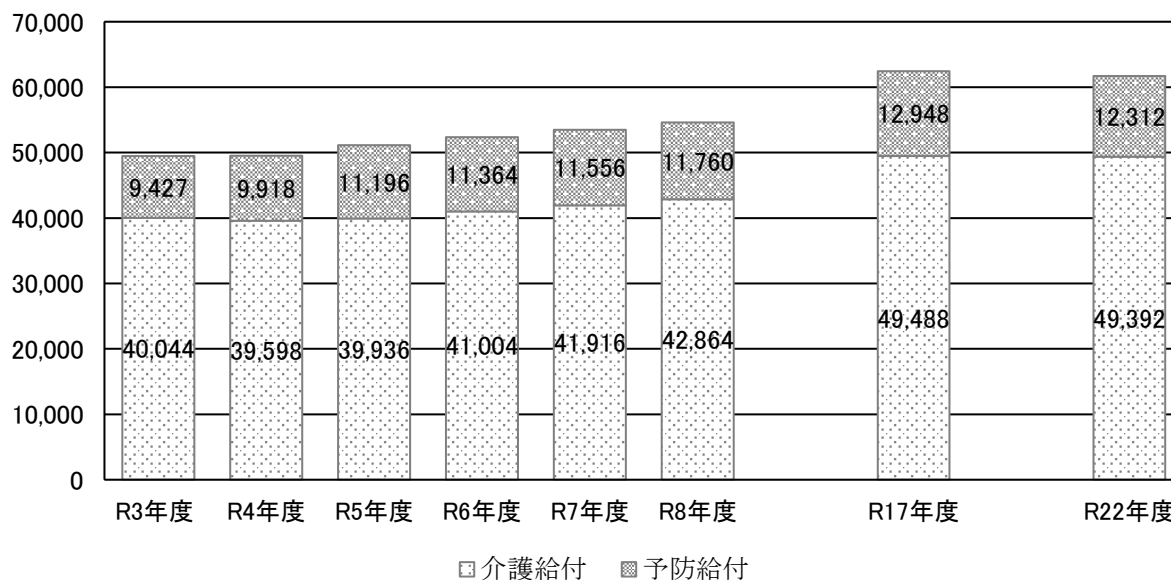
イ 給付の見込み

これまでは介護給付は減少傾向がみられ、予防給付は年々増加しております。今後は介護給付及び予防給付とも増加するものと見込みました。

(人/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	40,044	39,598	39,936	41,004	41,916	42,864	49,488	49,392
予防給付	9,427	9,918	11,196	11,364	11,556	11,760	12,948	12,312

(人/年)



第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

4 地域密着型サービスの充実

住み慣れた地域で介護を受けながら地域の方々と暮らせるよう様々なサービスを提供していきます。

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

ア サービスの概要

重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が密接に連携しながら、短時間の定期巡回型訪問と随時の対応を行うサービスです。

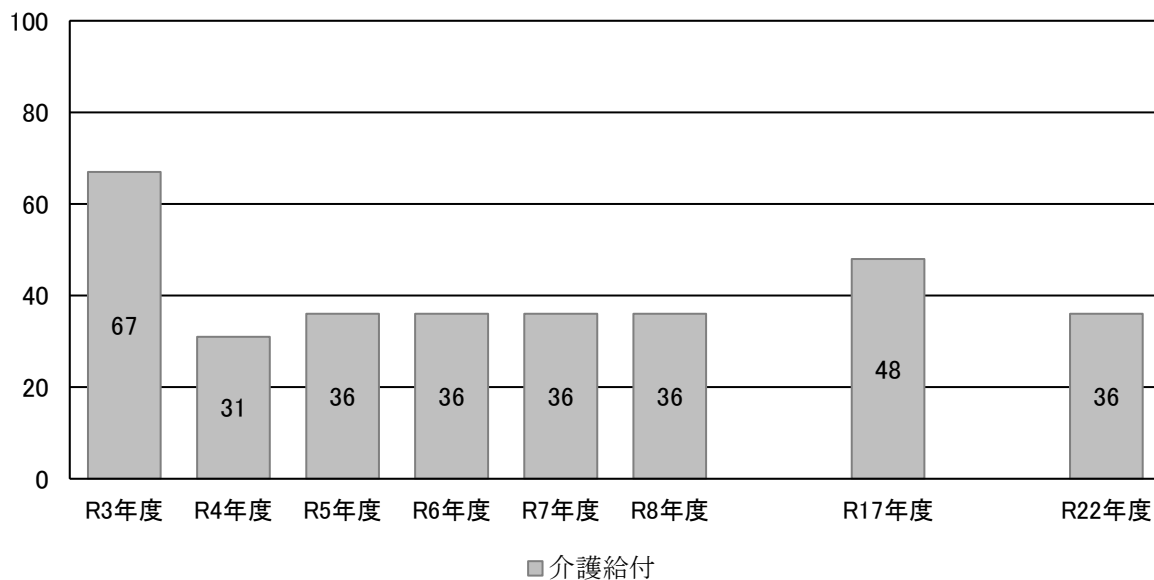
イ 給付の見込み

サービス提供事業所が少ないため介護給付の実績は少なくなっており、今後横ばいになると見込みました。

(人/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	67	31	36	36	36	36	48	36

(人/年)



(2) 認知症対応型通所介護

ア サービスの概要

認知症高齢者がデイサービスセンター等に通い、入浴や排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話及び機能訓練を受けるサービスです。

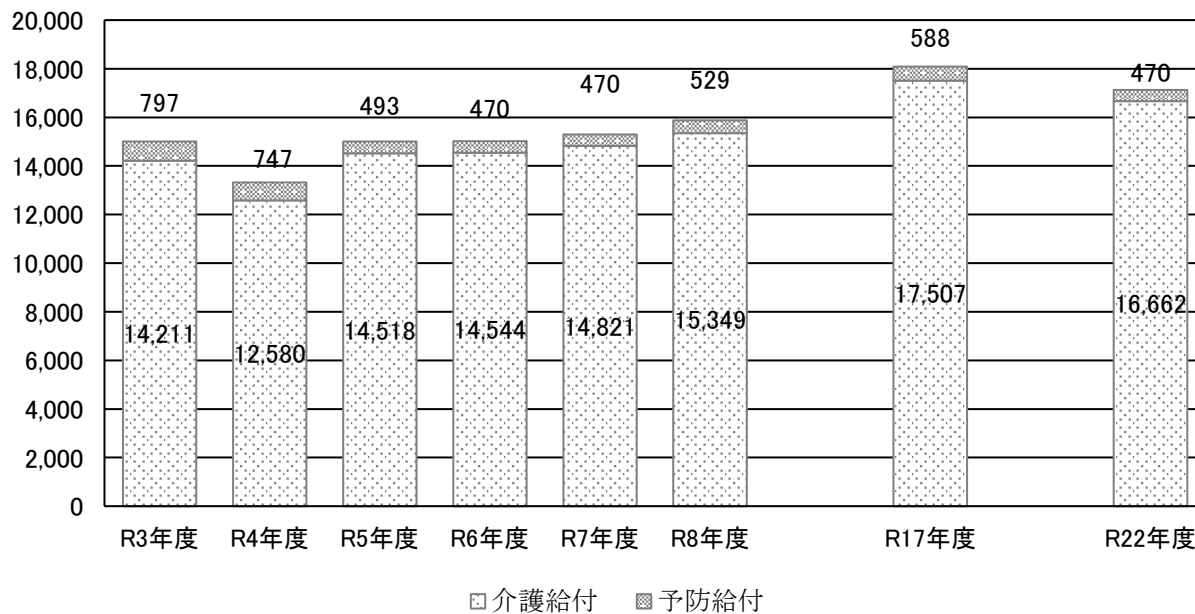
イ 給付の見込み

介護給付及び予防給付とも年々減少傾向ですが、今後は横ばいになると見込みました。

(回/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	14,211	12,580	14,518	14,544	14,821	15,349	17,507	16,662
予防給付	797	747	493	470	470	529	588	470

(回/年)



(3) 小規模多機能型居宅介護

ア サービスの概要

入浴や排せつ、食事等の日常生活上の世話や機能訓練等を受けるサービスです。通所のサービスを中心に心身の状況や希望に応じて訪問や宿泊サービスを組み合わせて利用できます。

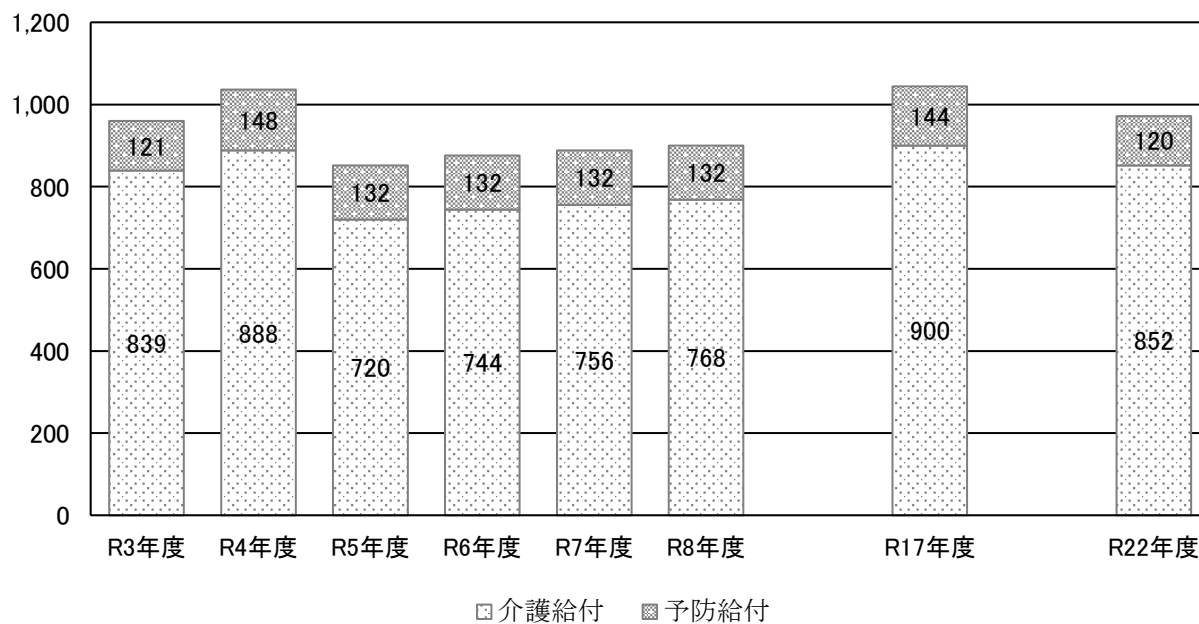
イ 給付の見込み

介護給付及び予防給付ともに一時的に減少しておりますが、今後は横ばいになると見込みました。

(人/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	839	888	720	744	756	768	900	852
予防給付	121	148	132	132	132	132	144	120

(人/年)



(4) 認知症対応型共同生活介護

ア サービスの概要

比較的安定した認知症状態の要介護者が、5～9人の少人数で共同生活を行い、入浴や排せつ、食事等の介護、日常生活上の支援、機能訓練等を受けるサービスです。

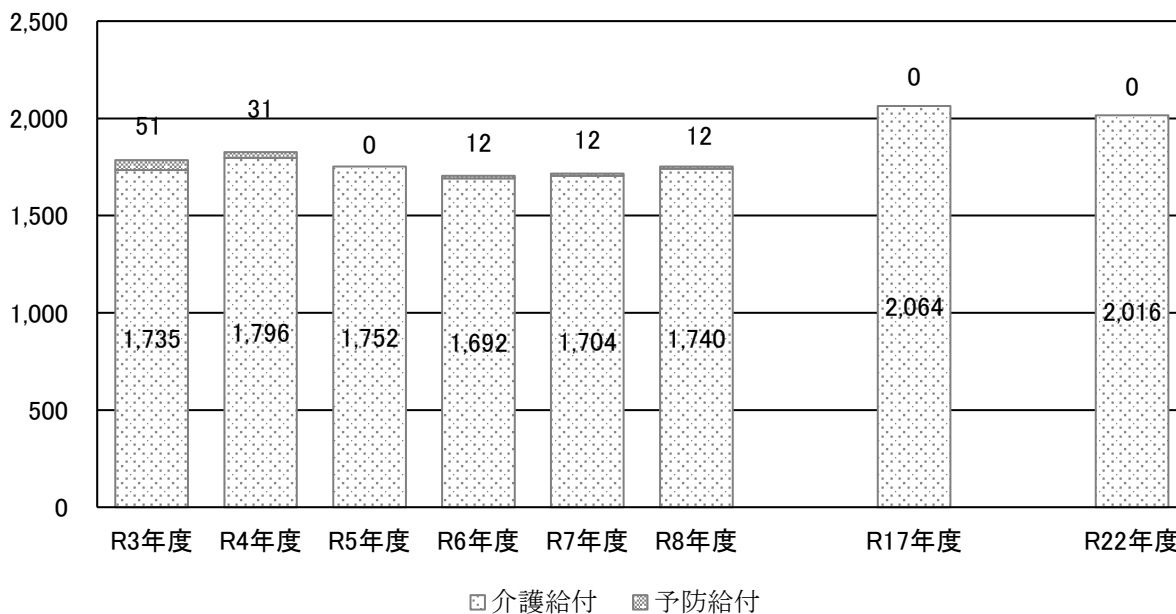
イ 給付の見込み

既存施設の状況などを考慮して、介護給付及び予防給付とも横ばいと見込みました。

(人/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	1,735	1,796	1,752	1,692	1,704	1,740	2,064	2,016
予防給付	51	31	0	12	12	12	0	0

(人/年)



第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

(5) 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

ア サービスの概要

地域密着型特別養護老人ホーム（入所定員 29 名以下）に入所して、日常生活上の世話や機能訓練、健康管理などを受けることができるサービスです。

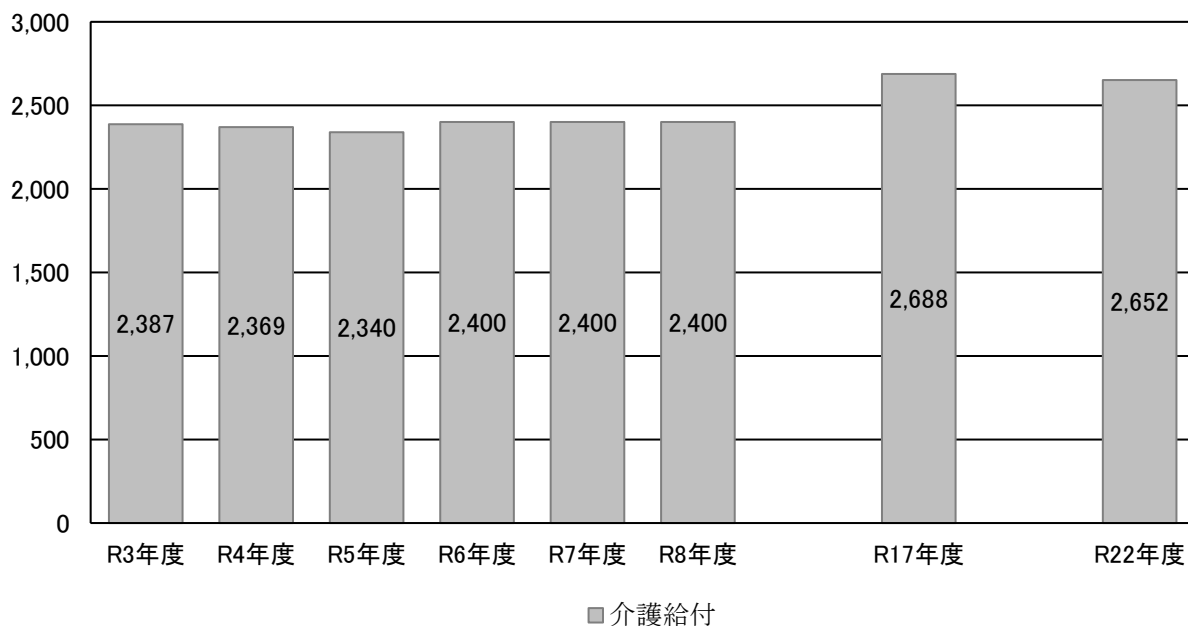
イ 給付の見込み

これまでの施設整備の状況を考慮して利用者数を見込み、今後も横ばいになると見込みました。

(人／年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	2,387	2,369	2,340	2,400	2,400	2,400	2,688	2,652

(人／年)



(6) 看護小規模多機能型居宅介護

ア サービスの概要

小規模多機能型居宅介護と訪問看護の組合せにより提供されるサービスです。

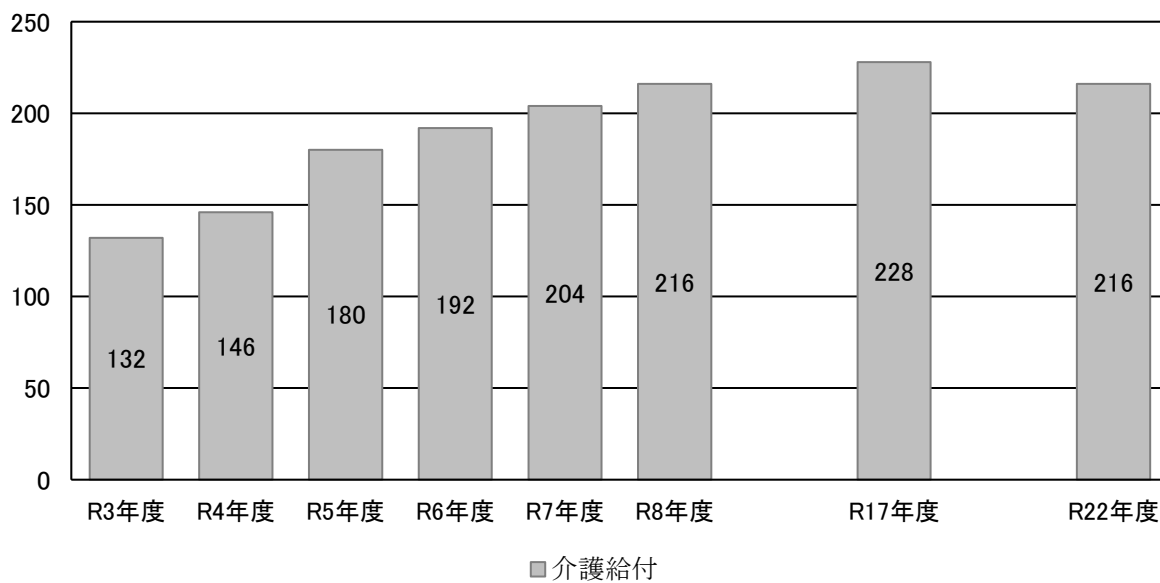
イ 給付の見込み

サービス提供事業所が少ないため介護給付の実績は少なくなっており、今後横ばいになると見込みました。

(人/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	132	146	180	192	204	216	228	216

(人/年)



第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

(7) 地域密着型通所介護

ア サービスの概要

デイサービスセンター（定員 18 名以下）に通い、入浴・食事の提供と介護や生活上の相談や助言、健康状態の確認、日常生活動作訓練等を受けるサービスです。

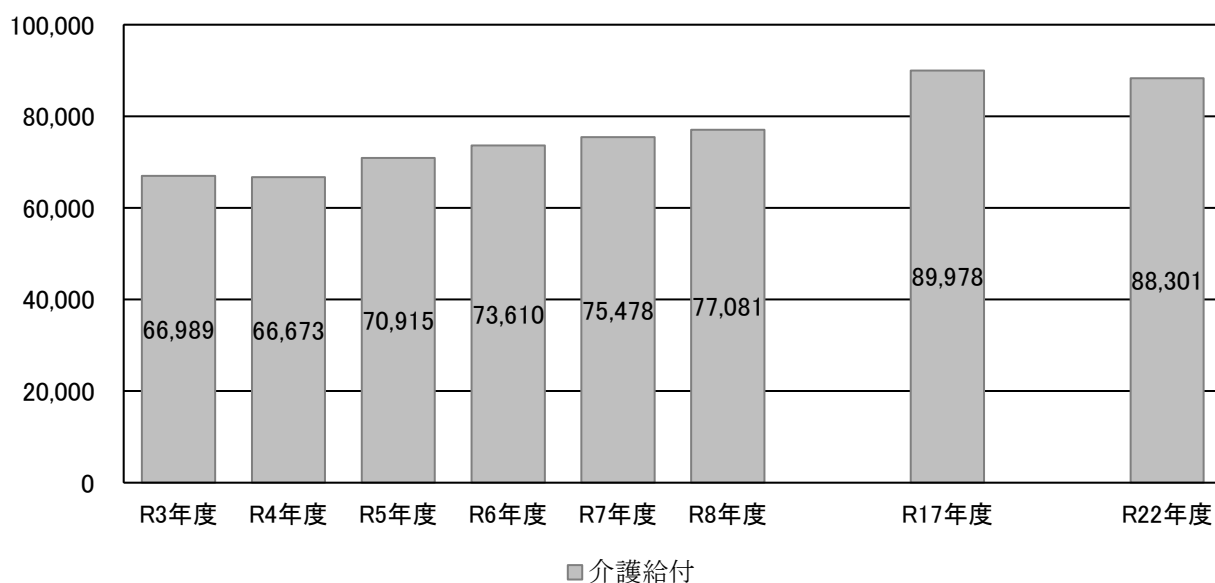
イ 給付の見込み

平成 28（2016）年度に通所介護から移行したサービスで近年は利用にばらつきがみられますが、今後は微増傾向と見込みました。

(回/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	66,989	66,673	70,915	73,610	75,478	77,081	89,978	88,301

(回/年)



5 施設サービスの充実

可能な限り在宅での生活を継続したいという高齢者の希望を踏まえつつ、様々な事情で在宅での生活が困難な方に対して、施設サービスの充実を図り、住み慣れた地域での生活を継続できるよう施設整備を進めます。

(1) 施設サービスの見込量

ア 介護老人福祉施設

(ア) サービスの概要

常時介護を必要とする高齢者で自宅での介護が困難な方で、原則要介護3以上の認定を受けている方が入居します。

入浴や排せつ、食事等の介護、その他日常生活や療養の世話、機能訓練、健康管理を行うサービスです。

(イ) 利用者の見込み

施設整備の予定がないことから横ばいと見込みました。

(人/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護給付	7,267	7,573	7,500	7,524	7,560	7,596	7,800	7,680

イ 介護老人保健施設

(ア) サービスの概要

看護や医学的管理のもとに、介護及び機能訓練、その他必要な医療並びに日常生活上の世話を行うサービスです。居宅における生活への復帰をめざす施設で要介護者が入所対象者となります。

(イ) 利用者の見込み

これまでの施設整備の状況を考慮して、今後も横ばいと見込みました。

(人/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
利用者数	4,720	4,685	4,608	4,620	4,644	4,644	5,460	5,436

第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

ウ 介護医療院（介護療養型医療施設）

(ア) サービスの概要

慢性期の医療・介護ニーズへの対応のため、「日常的な医学管理が必要な重介護者の受入れ」や「看取り・ターミナル」等の機能と「生活施設」としての機能を兼ね備えた、これまでの介護療養型医療施設に代わる新たなサービスです。

(イ) 利用者の見込み

令和元（2019）年に1施設開設しましたが、今後開設が見込まれないため横ばいと見込みました。なお、介護療養型医療施設は、令和6（2024）年3月末に廃止される予定です。（カッコ内は介護療養型医療施設の利用者数）

(人/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
利用者数	535 (32)	532 (17)	600 (12)	600	600	600	720	696

エ 養護老人ホーム

(ア) サービスの概要

身寄りがいない方や家庭の事情により家族と同居できない方で、経済的な理由により独立して生活することが困難な高齢者に養護老人ホームで日常生活を営むためのサービスを提供します。

(イ) 利用者の見込み

ひとり暮らし高齢者の増加に伴う利用者の増加を見込みました。

(人/年)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
利用者数	667	587	594	636	678	720	720	720

(2) 本計画における施設整備計画

ア 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） (床)

年 度	令和5年度末 (2023)	令和6年度～8年度 (2024～2026)	合計
定 員	721	0	721

イ 介護老人保健施設 (床)

年 度	令和5年度末 (2023)	令和6年度～8年度 (2024～2026)	合計
定 員	414	0	414

ウ 介護医療院 (床)

年 度	令和5年度末 (2023)	令和6年度～8年度 (2024～2026)	合計
定 員	37	0	37

エ 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム、ケアハウス等） (床)

年 度	令和5年度末 (2023)	令和6年度～8年度 (2024～2026)	合計
定 員	378	0	378

オ 特定施設入居者生活介護（養護老人ホーム） (床)

年 度	令和5年度末 (2023)	令和6年度～8年度 (2024～2026)	合計
定 員	70	0	70

カ 地域密着型サービス

(7) 地域密着型介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） (床)

年 度	令和5年度末 (2023)	令和6年度～8年度 (2024～2026)	合計
定 員	200	0	200

(イ) 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム） (床)

年 度	令和5年度末 (2023)	令和6年度～8年度 (2024～2026)	合計
定 員	162	0	162

第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

6 介護給付費・予防給付費の見込み

過去の介護サービスの利用実績、要介護認定者数、介護サービス利用量等の見込みを基にして、国の示した算定方法により本計画期間並びに令和17（2035）年度及び令和22（2040）年度の事業費の見込みを算定したものです。

(1) 介護給付費

(単位：千円)

	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
居宅サービス					
訪問介護	742,046	759,964	777,744	905,375	899,460
訪問入浴介護	31,856	33,434	34,152	40,510	39,600
訪問看護	304,126	312,162	320,026	372,249	363,898
訪問リハビリテーション	13,840	13,858	14,913	16,940	16,200
居宅療養管理指導	77,734	79,856	81,893	95,998	93,925
通所介護	2,282,779	2,338,733	2,394,259	2,789,379	2,744,834
通所リハビリテーション	260,866	266,382	272,111	311,587	310,378
短期入所生活介護	926,337	946,762	975,653	1,149,873	1,122,237
短期入所療養介護	19,767	19,792	19,792	25,212	23,601
特定施設入居者生活介護	610,215	644,894	670,003	688,228	687,983
福祉用具貸与	381,057	390,461	400,044	467,552	472,203
特定福祉用具購入	13,562	14,010	14,010	16,490	16,041
小計	5,664,185	5,820,308	5,974,600	6,879,393	6,790,360
住宅改修	35,438	37,701	37,701	43,887	38,203
居宅介護支援	644,018	659,586	674,845	781,809	782,563
地域密着型サービス					
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	6,667	6,675	6,675	8,900	6,675
認知症対応型通所介護	142,225	145,475	150,898	172,663	163,943
小規模多機能型居宅介護	153,297	156,480	159,660	188,939	179,256
認知症対応型共同生活介護	442,953	446,387	455,729	540,659	528,185
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	686,237	687,105	687,105	769,666	759,227
看護小規模多機能型居宅介護	50,457	54,137	55,748	62,413	58,796
地域密着型通所介護	683,880	702,889	717,894	842,569	826,317
小計	2,165,716	2,199,148	2,233,709	2,585,809	2,522,399

第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護保険施設サービス					
介護老人福祉施設	1,896,465	1,908,025	1,917,350	1,970,666	1,941,142
介護老人保健施設	1,282,000	1,290,605	1,290,605	1,516,797	1,511,421
介護医療院	201,621	201,174	201,174	243,128	234,748
小 計	3,380,086	3,399,804	3,409,129	3,730,591	3,687,311
介護給付費計	11,889,443	12,116,547	12,329,984	14,021,489	13,820,836

(2) 予防給付費

(単位：千円)

	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護予防サービス					
介護予防訪問入浴介護	607	608	608	608	608
介護予防訪問看護	61,646	62,759	63,487	70,177	66,707
介護予防訪問リハビリテーション	810	1,082	1,082	1,082	1,082
介護予防居宅療養管理指導	3,628	3,633	3,721	4,152	3,896
介護予防通所リハビリテーション	67,909	68,994	70,259	77,285	73,755
介護予防短期入所生活介護	7,744	7,754	7,899	8,945	8,422
介護予防短期入所療養介護					
介護予防特定施設入居者生活介護	48,529	49,743	49,743	50,193	47,184
介護予防福祉用具貸与	64,431	65,542	66,653	73,368	69,891
介護予防特定福祉用具購入	6,583	6,583	6,583	7,666	7,291
小 計	261,887	266,698	270,035	293,476	278,836
住宅改修	27,648	27,648	28,972	31,588	27,648
介護予防支援	51,979	52,924	53,858	59,299	56,388
地域密着型介護予防サービス					
介護予防認知症対応型通所介護	3,465	3,469	3,892	4,332	3,469
介護予防小規模多機能型居宅介護	9,856	9,868	9,868	10,842	8,895
介護予防認知症対応型共同生活介護	3,018	3,022	3,022		
小 計	16,339	16,359	16,782	15,174	12,364
予 防 給 付 費 計	357,853	363,629	369,647	399,537	375,236

	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
総 給 付 費 (合 計)	12,247,296	12,480,176	12,699,631	14,421,026	14,196,072

第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

7 標準給付費の見込み

(単位：千円)

	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	3カ年合計
総給付費	12,247,296	12,480,176	12,699,631	37,427,103
特定入所者介護サービス費等給付額	386,040	393,744	401,005	1,180,789
高額介護サービス等給付額	286,749	292,514	297,910	877,173
高額医療合算介護サービス費等給付額	34,274	34,830	35,566	104,670
算定対象審査支払手数料	14,319	14,552	14,859	43,730
標準給付費	12,968,678	13,215,816	13,448,971	39,633,465

	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
総給付費	14,421,026	14,196,072
特定入所者介護サービス費等給付額	441,403	432,940
高額介護サービス等給付額	327,319	321,043
高額医療合算介護サービス費等給付額	40,134	39,365
算定対象審査支払手数料	16,768	16,446
標準給付費	15,246,650	15,005,866

第2節 介護予防・日常生活支援の推進

高齢者が住み慣れた地域でできる限り自立し安心して暮らすことができるよう介護予防や自立支援に向けたサービスを提供するとともに、在宅生活を支える体制構築に向けた事業を推進します。

1 介護予防・生活支援サービス事業の充実

高齢者のニーズに対応するため、リハビリテーション専門職等による支援や住民同士の互助活動、身近な所で取り組む介護予防活動など多様な訪問・通所の事業の充実を図ります。

介護予防・生活支援サービス事業の見込量

		令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
訪問型サービス						
予防給付相当	人	7,740	7,968	8,196	6,744	6,360
基準緩和型サービス	人	60	60	60	48	48
短期集中予防サービス	人	2	3	4	12	24
住民主体による支援	か所		1	1	1	1
通所型サービス						
予防給付相当	人	12,648	13,020	13,404	11,016	10,392
基準緩和型サービス	人	1,008	1,068	1,128	852	804
短期集中予防サービス	人	110	120	120	140	140
住民主体による支援	か所			1	1	1
介護予防ケアマネジメント	人	12,578	12,627	12,675	12,041	10,837

(1) 訪問型サービス

ア サービスの概要

(ア) 予防給付相当・基準緩和型サービス

訪問介護員（ホームヘルパー）等が自宅を訪問し、できるだけ家事などを本人が行えるようにサポートするサービスです。

(イ) 短期集中予防サービス

リハビリテーションの専門職が訪問し、要支援者等が自身の有する能力を最大限活かせるよう集中した専門的なプログラムを提供するサービスです。

(ウ) 住民主体による支援

地域住民同士での助け合いを含め様々な生活支援を提供するサービスです。

第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

イ 給付の見込み

認定者数は増加をしていくものの実績を勘案し減少傾向と見込みました。

		実 績		見込
		令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
予防給付相当	人	7,440	7,308	7,524
基準緩和型サービス	人	60	48	60
短期集中予防サービス	人			3
住民主体による支援	か所			

		計 画				
		令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
予防給付相当	人	7,740	7,968	8,196	6,744	6,360
基準緩和型サービス	人	60	60	60	48	48
短期集中予防サービス	人	2	3	4	12	24
住民主体による支援	か所		1	1	1	1

(2) 通所型サービス

ア サービスの概要

(ア) 予防給付相当・基準緩和型サービス

デイサービスセンターやスポーツクラブ等に通い、運動器の機能向上や栄養改善、口腔機能の向上などのプログラムを提供するサービスです。

(イ) 短期集中予防サービス

リハビリテーションの専門職により、要支援者等が自身の有する能力を最大限活かせるよう集中した専門的なプログラムを提供するサービスです。

(ウ) 住民主体による支援

身近な所に週1回集まり、ボランティア等と介護予防の継続的な取り組みを行うサービスです。

イ 給付の見込み

認定者数の増加を踏まえ、利用が年々増加していくと見込みました。

		実績		見込
		令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
予防給付相当	人	11,160	10,872	12,288
基準緩和型サービス	人	1,152	1,044	948
短期集中予防サービス	人	4	26	110
住民主体による支援	か所			

		計画				
		令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
予防給付相当	人	12,648	13,020	13,404	11,016	10,392
基準緩和型サービス	人	1,008	1,068	1,128	852	804
短期集中予防サービス	人	110	120	120	140	140
住民主体による支援	か所	1	1	1	1	1

(3) 介護予防ケアマネジメント

ア サービスの概要

要支援者等の生活上の困りごとの解決に向けて、自身でできることを共に考え、本人の主体的な取り組みと地域の中で生きがいをもって社会参加を継続するために必要な計画の作成や各サービス事業者等との連絡・調整を行うサービスです。

イ 給付の見込み

認定者数の増加を踏まえ、利用が年々増加していくと見込みました。

(人)

	実績		見込	計画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
利用者数	12,233	12,075	12,324	12,578	12,627	12,675	12,041	10,837

2 包括的支援事業の充実

地域包括ケアシステムに向け、高齢者のさまざまな相談から適切な支援につなげると共に、関係機関との連携強化や地域課題に合った生活支援の体制整備を推進します。

第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

		実績		見込
		令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
総合相談	件	9,062	14,357	20,337
地域ケア会議検討数	件	18	60	84

		計 画				
		令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
総合相談	件	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
地域ケア会議検討数	件	91	91	91	91	91

※ 事業の詳細は、第4章第5節参照

3 介護者支援の充実

紙おむつ券や介護慰労金の給付等により在宅介護の支援を推進します。

(1) 紙おむつ券給付事業

ア 事業の内容

在宅の要介護2以上で65歳以上の高齢者に対し紙おむつ券を給付することにより高齢者を介護する家族の経済的負担を軽減し在宅介護を支援します。

イ 給付の見込み

認定者数の増加が見込まれますが、給付者は横ばいで推移していくと見込みました。

	実績		見込	計 画				
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
給付者数	2,024人	1,997人	2,002人	2,002人	2,002人	2,002人	2,002人	2,002人

(2) 介護慰労金給付事業（一部保健福祉事業）

ア 事業の内容

在宅の要介護3以上（任意事業対象者は、介護サービスを利用していない方に限る。）で65歳以上の高齢者を介護する家族に対し、慰労金を給付することにより家族の介護する意欲の向上を図り在宅介護を支援します。

イ 給付の見込み

認定者数の増加が見込まれますが、給付者は横ばいで推移していくと見込みました。

第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

	実績		見 込
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
給付者数	516人 うち任意事業 (27人)	486人 うち任意事業 (23人)	490人 うち任意事業 (20人)

	計 画				
	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
給付者数	514人 うち任意事業 (20人)	514人 うち任意事業 (20人)	514人 うち任意事業 (20人)	514人 うち任意事業 (20人)	514人 うち任意事業 (20人)

4 地域支援事業費の見込み

過去の実績などを基に推計し、本計画期間並びに令和17(2035)年度及び令和22(2040)年度の事業費の見込みを算定したものです。

地域支援事業費

(単位：千円)

	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	3カ年合計
介護予防・日常生活支援総合事業費 (A)	601,353	620,792	635,495	1,857,640
包括的支援事業 (B)	168,008	168,508	169,008	505,524
任意事業費 (C)	34,445	37,445	40,445	112,335
地域支援事業費 (A+B+C)	803,806	826,745	844,948	2,475,499

	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
介護予防・日常生活支援総合事業費 (A)	515,437	485,652
包括的支援事業 (B)	160,068	160,407
任意事業費 (C)	30,158	30,241
地域支援事業費 (A+B+C)	705,663	676,300

第3節 第1号被保険者の保険料

1 総事業費の見込み

保険料算定の基となる総事業費は、第1節の介護保険の標準給付費及び第2節の地域支援事業費の合計で、本計画期間並びに令和17（2035）年度及び令和22（2040）年度の総事業費の見込みは次のとおりです。

（単位：千円）

	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	3カ年合計
標準給付費 (A)	12,968,678	13,215,816	13,448,971	39,633,465
地域支援事業費 (B)	803,806	826,745	844,948	2,475,499
総事業費 (A+B)	13,772,484	14,042,561	14,293,919	42,108,964

	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)
標準給付費 (A)	15,246,650	15,005,866
地域支援事業費 (B)	705,663	676,300
総事業費 (A+B)	15,952,313	15,682,166

2 第1号被保険者の保険料

本計画においては、第8期計画に引き続き、被保険者の負担能力に応じた保険料賦課の観点から多段階化を図り、保険料段階を15段階としました。

また、国の公費による軽減措置により第1段階の基準額に対する割合を0.17、第2段階を0.20、第3段階を0.005引き下げ、第1号被保険者間での所得再分配機能を強化することにより低所得者層の保険料を軽減するとともに、介護給付費準備基金を活用し（650,000千円）、給付費に充てることで保険料の上昇を抑制しました。

（単位：円）

段階	対象者	基準額に対する割合	保険料年額
第1段階	生活保護受給者 老齢福祉年金受給者で世帯非課税の方 世帯全員が市民税非課税で課税年金収入額＋ 合計所得金額が80万円以下の方	基準額×0.285	20,000
第2段階	世帯全員が市民税非課税で課税年金収入額＋ 合計所得金額が80万円を超え120万円以下の方	基準額×0.485	34,000

第5章 地域で安心して暮らせるまちづくり

段 階	対象者	基準額に 対する割合	保険料年額
第3段階	世帯全員が市民税非課税で課税年金収入額＋ 合計所得金額が120万円を超える方	基準額×0.685	48,000
第4段階	世帯課税で本人が市民税非課税の方のうち、 本人の課税年金収入額＋合計所得金額が80万 円以下の方	基準額×0.825	57,900
第5段階	世帯課税で本人が市民税非課税の方のうち、 本人の課税年金収入額＋合計所得金額が80万 円を超える方	基準額×1.00	70,200
第6段階	本人が市民税課税で合計所得金額が80万円以 下の方	基準額×1.125	78,900
第7段階	本人が市民税課税で合計所得金額が80万円を 超え120万円未満の方	基準額×1.210	84,900
第8段階	本人が市民税課税で合計所得金額が120万円 以上210万円未満の方	基準額×1.312	92,100
第9段階	本人が市民税課税で合計所得金額が210万円 以上320万円未満の方	基準額×1.512	106,100
第10段階	本人が市民税課税で合計所得金額が320万円 以上420万円未満の方	基準額×1.660	116,500
第11段階	本人が市民税課税で合計所得金額が420万円 以上520万円未満の方	基準額×1.820	127,700
第12段階	本人が市民税課税で合計所得金額が520万円 以上620万円未満の方	基準額×2.180	153,000
第13段階	本人が市民税課税で合計所得金額が620万円 以上720万円未満の方	基準額×2.240	157,200
第14段階	本人が市民税課税で合計所得金額が720万円 以上1,000万円未満の方	基準額×2.600	182,500
第15段階	本人が市民税課税で合計所得金額が1,000万 円以上の方	基準額×2.700	189,500

※1 国の基準所得金額変更に伴い、所得区分の見直しを行いました。

※2 第1段階から第3段階までの保険料年額は、国の公費による軽減措置後の保険料年額で
す。

※3 合計所得金額については、長期譲渡所得及び短期譲渡所得に係る特別控除額を控除した額
を合計所得金額とし、各段階の判定を行います。また、第1段階から第5段階までの判定に
おいては、当該合計所得金額から課税年金収入に係る所得を控除した額を合計所得金額とし
て判定を行います。

第6章 計画の推進

第1節 サービスの質の確保と向上

利用者の満足が得られ、介護者が安心して任せられるような質の高い介護サービスの提供に努めます。

1 情報提供体制の整備

介護保険制度について、制度改正における変更点や保険料などの情報をわかりやすく伝えるため、広報紙、パンフレット、ホームページなどを活用し積極的に広報します。

2 相談窓口の充実

利用者が適切なサービスを利用できるよう相談窓口の充実を図ります。

3 説明会等の開催

職員による出前講座や各種講演会の実施などを通して、介護保険制度や各種保健福祉サービスについての周知に努めます。

サービス提供事業者に対する研修会の開催や関係機関と連携して助言を行い、サービスの質の確保や向上を図ります。

4 地域密着型サービスにおける指導の実施

市に指導・監督権限が付与された地域密着型サービス事業者に対し、よりよいサービスの提供・適正な事業所運営が行われるよう実地指導を定期的の実施します。

5 事故報告の徹底と再発防止指導

介護保険サービスの提供により発生した事故に関して、発生状況を把握するとともにサービス提供事業者に対し再発防止の指導を行います。

6 感染症や災害に対する備えに係る事業所との連携

日頃から介護事業所等と連携し、避難訓練の実施や物資の備蓄等の確認、感染症発生時に備えた事前準備や感染症発生時の連携体制の構築などを進めます。また、栃木県などの関係機関との連携を進めます。

第2節 適切なサービス提供の確保

1 審査手続きの迅速化

要介護認定の申請に対しては、速やかに調査を行い認定審査会に諮り、認定審査手続きの迅速化を図ります。

2 苦情・不服への対応

要介護認定結果や保険料の賦課などに対する苦情、不服に対しては、被保険者に十分な説明を行います。また、居宅介護支援事業者やサービス提供事業者に対する苦情等に対しては、関係機関に連絡し、必要に応じ関係機関とともに調査や指導を行います。

第3節 給付適正化の推進

介護保険制度の充実に伴う介護給付の増加で、被保険者、サービス利用者の負担も増加しています。このような中で利用者に対する適切な介護サービスを確保するなど介護給付の適正化を図ることにより介護保険制度の信頼を高め、持続可能な制度運営を目指します。

1 要介護認定の適正化

認定調査員の研修や調査委託をした場合の点検を行い、要介護認定事務の適正化を図ります。また、審査会委員に対する研修を実施し、認定審査の平準化を図ります。

2 ケアプランの点検

居宅介護サービス計画、介護予防サービス計画の記載内容の点検・評価を実施し、介護支援専門員の資質向上を支援します。

3 住宅改修等の点検

住宅改修費や福祉用具の支給については、書面審査に加え、訪問調査の実施に努め、支給の必要性、妥当性を判断します。

また、福祉用具貸与については、平成30(2018)年10月から福祉用具専門相談員に対して、当該商品の全国平均貸与価格を利用者に説明する等が義務付けられたため、保険者として福祉用具専門相談員や利用者へ適切な説明をしていきます。

第6章 計画の推進

4 医療情報との突合・縦覧点検

医療保険の入院情報等と介護保険の給付情報を突合し、給付日数や提供されたサービスの整合性の点検を行います。

また、受給者ごとに複数月にかかる支払状況（請求明細書の内容）を確認し、提供されたサービスの整合性の点検を行います。

第4節 計画の進行管理

足利市介護保険等運営協議会において、事業計画で定めた計画期間の各年度の数値目標の進捗状況及びサービスの利用状況等、計画目標の達成率等の評価・検証・分析を行います。

また、3年毎に作成する事業計画の際に、それらの問題点や改善点を計画に反映します。

第5節 関係機関との連携

高齢者を取り巻く社会環境はますます多様化するとともに、その福祉の向上を図るためには、保健・医療・福祉の連携だけでは補いきれない面があります。

そのため、関連部署における施策に対する取り組みも重要であることから、幅広く庁内各部課・関係機関等との連携強化を図り、高齢者に関わる施策を効果的に推進します。

【 資 料 編 】

1 足利市介護保険等運営協議会条例

(設置)

第1条 介護保険法（平成9年法律第123号）第2条の規定に基づく介護保険及び同法第115条の46の規定に基づく地域包括支援センターの運営等に関する施策の策定に係る審議等を行うため、足利市介護保険等運営協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 協議会は、委員20人以内で組織する。

(委員の任命)

第3条 委員は、次の掲げる者のうちから、市長が任命する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 医療関係者
- (3) 介護保険被保険者
- (4) 社会福祉関係者
- (5) 介護サービス事業者
- (6) 市長が必要と認める団体の代表者
- (7) その他市長が適当と認める者

(委員の任期等)

第4条 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。
- 3 委員の任期が満了したときは、当該委員は、後任者が任命されるまで引き続きその職務を行うものとする。
- 4 市長は、委員が心身の故障のために職務の執行ができないと認める場合又は職務上の義務違反その他委員たるに適しない非行があると認める場合には、その委員を罷免することができる。
- 5 委員は、職務上知ることができた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。
- 6 委員は、非常勤とする。

資料編

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、会長が招集し、その議長となる。ただし、会長及び副会長が不在のときは、市長が招集する。

- 2 協議会は、委員の過半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(資料の提出等の要求)

第7条 協議会は、その所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、市長に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

- 2 協議会の会議において必要があるときは、関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、健康福祉部元気高齢課において処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、協議会の設置及び組織に関し必要な事項は、市長が別に定める。

- 2 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

- 1 この条例は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 この条例の施行後最初に任命される委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成32年3月31日までとする。

2 足利市介護保険等運営協議会委員名簿

(敬称略)

No.	区 分	所 属 等	役職名・氏名	備 考
1	学識経験者	足利市議会	議員 鶴 貝 大 祐	
2		足利大学 看護学部	教授 齋 藤 みどり	
3		栃木県安足健康福祉センター	所長 工 藤 香 織	
4	医療関係者	足利市医師会	理事 長 崎 秀 彰	会 長
5		足利歯科医師会	副会長 小 林 浩	
6	社会福祉 関係者	足利市社会福祉協議会	常務理事 大 川 晴 美	副会長
7		足利市民生委員児童委員 連合会	理事 木 村 和 子	
8		足利人権擁護委員協議会 足利部会	副部会長 阿 部 美 恵 子	
9	介護サービス 事業者等	足利市社会福祉施設代表 者協議会	副会長 許 友 巳 江	
10		地域密着型サービス事業 所（義明苑ふくとみ）	管理者 遠 藤 泰 生	
11		あしかが介護支援専門員 連絡会	会長 柳 義 則	

12	介護保険 被保険者	足利商工会議所	専務理事 邊 見 隆	
13		足利市老人クラブ連合会	女性部長 飯 嶋 笑 子	
14		足利市女性団体連絡協議 会	会計 椎 名 婦美子	
15		連合栃木わたらせ地域協 議会	副議長 大 塚 幸 一	~R5. 12
			副議長 新 城 健 太	R6. 1~
16	公募委員	原 直 美		

3 足利市介護保険等運営協議会開催経過

	開催日・会場	議題等
第1回	令和5(2023)年 7月6日 市役所 特別会議室	<ol style="list-style-type: none"> 1 任命状交付 2 会長・副会長の選出 3 足利市介護保険等運営協議会について 4 介護保険制度の現状及び本市の運営状況について 5 足利市老人福祉計画・介護保険事業計画(第9期計画)の策定について 6 令和5年度足利市地域包括支援センター事業計画について
第2回	令和5(2023)年 10月 書面協議	<ol style="list-style-type: none"> 1 日常生活圏域ニーズ調査集計結果について 2 介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針について 3 第9期事業計画における被保険者数等の見込みについて 4 介護保険料設定の考え方について
第3回	令和5(2023)年 11月22日 足利市 総合福祉センター 301、302 会議室	<ol style="list-style-type: none"> 1 第2回運営協議会の議事にかかる意見等について 2 第9期計画の構成(案)について 3 第9期計画の介護施設整備計画について 4 第9期計画の介護給付費等の推計(案)について 5 第9期計画の介護保険料について
第4回	令和5(2023)年 12月 書面協議	第9期計画の素案について
第5回	令和6(2024)年 1月18日 足利市保健センター	<ol style="list-style-type: none"> 1 ゴールドプラン21(第9期計画)案について 2 第9期計画の介護保険料について
第6回	令和6(2024)年 3月27日 足利市 総合福祉センター 301、302 会議室	<ol style="list-style-type: none"> 1 ゴールドプラン21(第9期計画)について 2 令和5年度地域包括支援センター事業結果について 3 令和6年度地域包括支援センター運営方針・事業方針(案)について

4 日常生活圏ニーズ調査

日常生活圏ニーズ調査は、生活支援の充実や高齢者の社会参加・支え合い体制づくりや介護予防の推進のために必要な社会資源の把握をするとともに、地域づくりの場への参加意向や主観的幸福感をも把握する調査です。

今回実施したアンケート調査項目は、厚生労働省から示された「介護予防・日常生活圏ニーズ調査」の項目に本市独自の調査項目を追加し、要介護状態になる前の高齢者（一般高齢者）と要支援状態の高齢者（要支援1・2）に対しアンケートを実施しました。

(1) 回答者の状況

ア 年齢構成

(人)

	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上	総数
男	302	416	323	193	105	27	1,366
女	333	415	394	263	128	38	1,571
総数	635	831	717	456	233	65	2,937

イ 地区別回答者数

(人、%)

地区	中央第一地区		中央第二地区		中央第三地区		毛野地区	
回答者数	256	8.72	265	9.02	273	9.30	276	9.40
地区	山辺地区		西地区		北地区		富田地区	
回答者数	262	8.92	256	8.72	282	9.60	268	9.12
地区	協和地区		愛宕台地区		坂西地区		総数	
回答者数	259	8.82	269	9.16	271	9.23	2,937	100

ウ 認定状況（単位：人）

	一般高齢者	要支援1・2	総数
男	1,320	46	1,366
女	1,457	114	1,571
総数	2,777	160	2,937

※ ア、イ及びウには無回答がそれぞれ50あります。

(2) 日常生活圏域ニーズ調査 集計表

前回は第8期計画策定時の令和2(2020)年5月・6月に実施、前々回は第7期計画策定時の平成29(2017)年3月・4月に実施した結果です。

問1	あなたのご家族や生活状況について	回答数	割合	前回回答数・割合	前々調査時	
(1)	家族構成をお教えてください					
	1. 一人暮らし	554	18.5%	144	21.0%	18.6%
	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	1,182	39.6%	260	38.0%	38.6%
	3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	129	4.3%	25	3.6%	3.8%
	4. 息子・娘との2世帯	490	16.4%	116	16.9%	23.0%
	5. その他	529	17.7%	128	18.7%	15.4%
	無回答	103	3.4%	12	1.8%	0.8%
(2)	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか					
	1. 介護・介助は必要ない	2,510	84.0%	538	78.5%	82.2%
	2. 何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない	191	6.4%	70	10.2%	5.6%
	3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	172	5.8%	67	9.8%	10.6%
	無回答	114	3.8%	10	1.5%	1.6%
(2)①	(介護・介助が必要な方のみ)介護・介助が必要になった主な原因は何ですか(いくつでも)					
	1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	34	6.3%	12	6.4%	8.6%
	2. 心臓病	41	7.6%	9	4.8%	5.8%
	3. がん(悪性新生物)	35	6.5%	11	5.9%	3.7%
	4. 呼吸器の病気(肺炎等)	23	4.3%	7	3.7%	4.3%
	5. 関節の病気(リウマチ等)	33	6.1%	9	4.8%	8.3%
	6. 認知症(アルツハイマー病等)	28	5.2%	8	4.3%	2.4%
	7. パーキンソン病	9	1.7%	5	2.7%	2.1%
	8. 糖尿病	38	7.0%	10	5.3%	7.0%
	9. 腎疾患(透析)	13	2.4%	3	1.6%	1.2%
	10. 視覚・聴覚障害	41	7.6%	10	5.3%	3.4%
	11. 骨折・転倒	59	10.9%	24	12.8%	11.0%
	12. 脊髄損傷	24	4.4%	11	5.9%	6.1%
	13. 高齢による衰弱	63	11.7%	25	13.4%	15.9%
	14. その他	43	8.0%	14	7.5%	8.3%
	15. 不明	7	1.3%	1	0.5%	0.6%
	無回答	49	9.1%	28	15.0%	11.3%
(2)②	(現在、何らかの介護を受けている方のみ)主にどなたの介護・介助を受けていますか(いくつでも)					
	1. 配偶者(夫・妻)	59	24.0%	22	22.2%	22.2%
	2. 息子	40	16.3%	12	12.1%	13.3%
	3. 娘	45	18.3%	15	15.2%	11.1%
	4. 子の配偶者	14	5.7%	6	6.1%	7.4%
	5. 孫	9	3.7%	1	1.0%	0.0%
	6. 兄弟・姉妹	7	2.8%	2	2.0%	1.5%
	7. 介護サービスのヘルパー	41	16.7%	25	25.3%	30.4%
	8. その他	20	8.1%	14	14.1%	4.4%
	無回答	11	4.5%	2	2.0%	9.6%
(3)	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか					
	1. 大変苦しい	278	9.3%	47	6.9%	8.2%
	2. やや苦しい	841	28.2%	168	24.5%	24.1%
	3. ふつう	1,537	51.5%	392	57.2%	57.4%
	4. ややゆとりがある	153	5.1%	47	6.9%	7.4%
	5. 大変ゆとりがある	33	1.1%	3	0.4%	1.2%
	無回答	145	4.9%	28	4.1%	1.8%

問2	からだを動かすことについて	回答数	割合	前回回答数・割合		前々調査時
(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか					
	1. できるし、している	1,819	60.9%	397	58.0%	60.8%
	2. できるけどしていません	565	18.9%	126	18.4%	17.2%
	3. できない	475	15.9%	136	19.9%	20.1%
	無回答	128	4.3%	26	3.8%	2.0%
(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか					
	1. できるし、している	2,197	73.6%	494	72.1%	74.2%
	2. できるけどしていません	318	10.6%	76	11.1%	9.4%
	3. できない	354	11.9%	89	13.0%	14.9%
	無回答	118	4.0%	26	3.8%	1.5%
(3)	15分位続けて歩いていますか					
	1. できるし、している	2,151	72.0%	469	68.5%	69.0%
	2. できるけどしていません	467	15.6%	117	17.1%	17.4%
	3. できない	263	8.8%	72	10.5%	12.6%
	無回答	106	3.5%	27	3.9%	0.9%
(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか					
	1. 何度もある	277	9.3%	69	10.1%	12.5%
	2. 1度ある	644	21.6%	157	22.9%	20.6%
	3. ない	2,027	67.9%	438	63.9%	65.9%
	無回答	39	1.3%	21	3.1%	1.0%
(5)	転倒に対する不安は大きいですか					
	1. とても不安である	421	14.1%	107	15.6%	16.1%
	2. やや不安である	1,080	36.2%	226	33.0%	34.5%
	3. あまり不安でない	881	29.5%	193	28.2%	29.0%
	4. 不安でない	567	19.0%	133	19.4%	19.0%
	無回答	38	1.3%	26	3.8%	1.3%
(6)	週に1回以上は外出していますか					
	1. ほとんど外出しない	153	5.1%	47	6.9%	6.0%
	2. 週1回	398	13.3%	94	13.7%	12.9%
	3. 週2～4回	1,300	43.5%	300	43.8%	42.6%
	4. 週5回以上	1,096	36.7%	224	32.7%	38.1%
	無回答	40	1.3%	20	2.9%	0.4%
(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか					
	1. とても減っている	131	4.4%	68	9.9%	5.6%
	2. 減っている	779	26.1%	245	35.8%	20.2%
	3. あまり減っていない	1,048	35.1%	160	23.4%	34.6%
	4. 減っていない	994	33.3%	197	28.8%	36.4%
	無回答	35	1.2%	15	2.2%	3.2%
(8)	外出を控えていますか					
	1. はい	960	32.1%	370	54.0%	21.0%
	2. いいえ	2,001	67.0%	301	43.9%	72.2%
	無回答	26	0.9%	14	2.0%	6.8%
(8)①	(外出を控えている方のみ)外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)					
	1. 病気	89	5.9%	16	3.1%	8.1%
	2. 障害(脳卒中の後遺症など)	15	1.0%	5	1.0%	2.2%
	3. 足腰などの痛み	317	21.2%	92	18.1%	30.7%
	4. トイレの心配(失禁など)	139	9.3%	32	6.3%	12.7%
	5. 耳の障害(聞こえの問題など)	62	4.1%	20	3.9%	6.5%
	6. 目の障害	57	3.8%	15	2.9%	7.9%
	7. 外での楽しみがない	124	8.3%	35	6.9%	5.3%
	8. 経済的に出られない	104	6.9%	25	4.9%	5.5%
	9. 交通手段がない	138	9.2%	41	8.1%	13.3%
	10. その他	403	26.9%	219	43.0%	5.9%
	無回答	50	3.3%	9	1.8%	1.8%

		回答数	割合	前回回答数	割合	前々回調査時
(9) 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)						
1. 徒歩		1,191	22.2%	258	21.5%	19.0%
2. 自転車		638	11.9%	163	13.6%	13.4%
3. バイク		58	1.1%	21	1.7%	1.6%
4. 自動車(自分で運転)		2,130	39.7%	434	36.1%	32.8%
5. 自動車(人に乗せてもらう)		763	14.2%	156	13.0%	15.8%
6. 電車		170	3.2%	34	2.8%	4.7%
7. 路線バス		123	2.3%	35	2.9%	2.5%
8. 病院や施設のバス		26	0.5%	9	0.7%	1.3%
9. 車いす		11	0.2%	4	0.3%	0.2%
10. 電動車いす(カート)		2	0.0%	2	0.2%	0.2%
11. 歩行器・シルバーカー		34	0.6%	13	1.1%	1.5%
12. タクシー		161	3.0%	37	3.1%	4.3%
13. その他		23	0.4%	5	0.4%	0.2%
無回答		40	0.7%	30	2.5%	2.6%
問3 食べることについて		回答数	割合	前回回答数・割合		前々回調査時
(1) 身長・体重						
1. 低体重(18.5未満)		195	6.5%	身長及び体重を回答いただいていた。		
2. 普通体重(18.5以上25.0未満)		2,080	69.6%			
3. 肥満(25.0以上)		642	21.5%			
無回答		70	2.3%			
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか						
1. はい		1,078	36.1%	246	35.9%	32.6%
2. いいえ		1,850	61.9%	411	60.0%	65.2%
無回答		59	2.0%	28	4.1%	2.2%
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか						
1. はい		886	29.7%	195	28.5%	26.4%
2. いいえ		2,046	68.5%	463	67.6%	71.5%
無回答		55	1.8%	27	3.9%	2.1%
(4) 口の渇きが気になりますか						
1. はい		808	27.1%	203	29.6%	28.6%
2. いいえ		2,110	70.6%	454	66.3%	68.0%
無回答		69	2.3%	28	4.1%	3.4%
(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか						
1. はい		2,538	85.0%	619	90.4%	87.0%
2. いいえ		387	13.0%	40	5.8%	10.2%
無回答		62	2.1%	26	3.8%	2.8%
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)						
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用		440	14.7%	95	13.9%	14.1%
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし		961	32.2%	217	31.7%	29.1%
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用		1,115	37.3%	268	39.1%	39.8%
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし		356	11.9%	60	8.8%	10.7%
無回答		115	3.9%	45	6.6%	6.3%
(6)① 噛み合わせは良いですか						
1. はい		2,245	75.2%	504	73.6%	73.8%
2. いいえ		630	21.1%	137	20.0%	18.5%
無回答		112	3.7%	44	6.4%	7.7%
(6)② ((6)で1,3の方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか						
1. はい		1,332	85.7%	322	88.7%	84.9%
2. いいえ		104	6.7%	20	5.5%	7.3%
無回答		119	7.7%	21	5.8%	7.8%
(7) 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか						
1. はい		320	10.7%	86	12.6%	12.1%
2. いいえ		2,558	85.6%	566	82.6%	84.4%
無回答		109	3.6%	33	4.8%	3.5%

		回答数	割合	前回回答数・割合		前々調査時
(8) どなたかと食事をもにすることはありますか						
	1. 毎日ある	1,628	54.5%	368	53.7%	52.5%
	2. 週に何度かある	308	10.3%	64	9.3%	9.8%
	3. 月に何度かある	417	14.0%	113	16.5%	20.1%
	4. 年に何度かある	293	9.8%	67	9.8%	9.5%
	5. ほとんどない	239	8.0%	48	7.0%	5.5%
	無回答	102	3.4%	25	3.6%	2.6%
問4	毎日の生活について	回答数	割合	前回回答数・割合		前々調査時
(1) 物忘れが多いと感じますか						
	1. はい	1,189	39.8%	331	48.3%	42.1%
	2. いいえ	1,724	57.7%	336	49.1%	55.7%
	無回答	74	2.5%	18	2.6%	2.2%
(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか						
	1. はい	614	20.6%	174	25.4%	25.2%
	2. いいえ	2,289	76.6%	474	69.2%	73.4%
	無回答	84	2.8%	37	5.4%	1.3%
(3) バスや電車などを使い一人で外出していますか(自家用車でも可)						
	1. できるし、している	2,237	74.9%	471	68.8%	72.9%
	2. できるけどしていない	418	14.0%	103	15.0%	13.6%
	3. できない	238	8.0%	75	10.9%	12.2%
	無回答	94	3.1%	36	5.3%	1.3%
(4) 自分で食品・日用品の買物をしていますか						
	1. できるし、している	2,393	80.1%	521	76.1%	76.8%
	2. できるけどしていない	411	13.8%	93	13.6%	13.9%
	3. できない	125	4.2%	39	5.7%	8.1%
	無回答	58	1.9%	32	4.7%	1.2%
(5) 自分で食事の用意をしていますか						
	1. できるし、している	2,134	71.4%	474	69.2%	68.2%
	2. できるけどしていない	609	20.4%	132	19.3%	21.8%
	3. できない	198	6.6%	47	6.9%	9.1%
	無回答	46	1.5%	32	4.7%	0.9%
(6) 自分で請求書の支払いをしていますか						
	1. できるし、している	2,423	81.1%	523	76.4%	76.9%
	2. できるけどしていない	383	12.8%	96	14.0%	15.8%
	3. できない	114	3.8%	34	5.0%	6.2%
	無回答	67	2.2%	32	4.7%	1.2%
(7) 自分で預貯金の出し入れをしていますか						
	1. できるし、している	2,396	80.2%	511	74.6%	74.4%
	2. できるけどしていない	399	13.4%	101	14.7%	17.4%
	3. できない	143	4.8%	46	6.7%	7.8%
	無回答	49	1.6%	27	3.9%	0.5%
(8) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか						
	1. はい	2,652	88.8%	580	84.7%	85.8%
	2. いいえ	270	9.0%	74	10.8%	12.8%
	無回答	65	2.2%	31	4.5%	1.4%
(9) 本や雑誌を読んでいますか						
	1. はい	2,137	71.5%	431	62.9%	68.2%
	2. いいえ	770	25.8%	221	32.3%	31.0%
	無回答	80	2.7%	33	4.8%	0.9%
(10) 健康についての記事や番組に関心がありますか						
	1. はい	2,670	89.4%	596	87.0%	87.4%
	2. いいえ	249	8.3%	63	9.2%	9.4%
	無回答	68	2.3%	26	3.8%	3.2%
(11) 趣味はありますか						
	1. 趣味あり	2,043	68.4%	501	73.1%	80.8%
	2. 思いつかない	746	25.0%	141	20.6%	19.0%
	無回答	198	6.6%	43	6.3%	0.2%

		回答数	割合	前回回答数・割合		前々調査時	
(12)	生きがいがありますか						
	1. 生きがいあり	1,675	56.1%	408	59.6%	80.9%	
	2. 思いつかない	1,081	36.2%	219	32.0%	17.5%	
	無回答	231	7.7%	58	8.5%	1.6%	
問5	地域での活動について	回答数	割合	前回回答数・割合		前々調査時	
(1)	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか						
	①ボランティアのグループ						
	1. 週4回以上	11	0.4%	4	0.6%	0.9%	
	2. 週2～3回	26	0.9%	9	1.3%	2.3%	
	3. 週1回	25	0.8%	4	0.6%	2.2%	
	4. 月1～3回	105	3.5%	25	3.6%	5.7%	
	5. 年に数回	204	6.8%	40	5.8%	10.4%	
	6. 参加していない	2,209	74.0%	347	50.7%	68.7%	
	無回答	407	13.6%	256	37.4%	9.8%	
	②スポーツ関係のグループやクラブ						
	1. 週4回以上	122	4.1%	30	4.4%	5.3%	
	2. 週2～3回	203	6.8%	45	6.6%	9.1%	
	3. 週1回	180	6.0%	39	5.7%	7.1%	
	4. 月1～3回	138	4.6%	33	4.8%	4.9%	
	5. 年に数回	84	2.8%	13	1.9%	4.3%	
	6. 参加していない	1,918	64.2%	307	44.8%	61.0%	
	無回答	342	11.4%	218	31.8%	8.3%	
	③趣味関係のグループ						
	1. 週4回以上	52	1.7%	13	1.9%	2.7%	
	2. 週2～3回	137	4.6%	35	5.1%	6.7%	
	3. 週1回	143	4.8%	36	5.3%	6.1%	
	4. 月1～3回	316	10.6%	70	10.2%	13.9%	
	5. 年に数回	173	5.8%	33	4.8%	6.7%	
	6. 参加していない	1,834	61.4%	281	41.0%	55.9%	
	無回答	332	11.1%	217	31.7%	8.1%	
	④学習・教養サークル						
	1. 週4回以上	6	0.2%	1	0.1%	0.6%	
	2. 週2～3回	15	0.5%	6	0.9%	0.8%	
	3. 週1回	25	0.8%	6	0.9%	2.9%	
	4. 月1～3回	88	2.9%	21	3.1%	5.6%	
	5. 年に数回	94	3.1%	27	3.9%	4.6%	
	6. 参加していない	2,332	78.1%	357	52.1%	75.1%	
	無回答	427	14.3%	267	39.0%	10.4%	
	⑤「ふれあいサロン」などの介護予防のための通いの場						
	1. 週4回以上	22	0.7%	2	0.3%	-	
	2. 週2～3回	53	1.8%	11	1.6%	-	
	3. 週1回	93	3.1%	5	0.7%	-	
	4. 月1～3回	72	2.4%	21	3.1%	-	
	5. 年に数回	33	1.1%	12	1.8%	-	
	6. 参加していない	2,316	77.5%	382	55.8%	-	
	無回答	398	13.3%	252	36.8%	-	
	⑥老人クラブ						
	1. 週4回以上	10	0.3%	4	0.6%	0.6%	
	2. 週2～3回	13	0.4%	5	0.7%	1.0%	
	3. 週1回	18	0.6%	8	1.2%	1.6%	
	4. 月1～3回	73	2.4%	22	3.2%	4.7%	
	5. 年に数回	154	5.2%	44	6.4%	6.5%	
	6. 参加していない	2,333	78.1%	358	52.3%	77.9%	
	無回答	386	12.9%	244	35.6%	7.6%	

		回答数	割合	前回回答数・割合		前々調査時
⑦町内会・自治会						
1. 週4回以上		13	0.4%	3	0.4%	0.5%
2. 週2～3回		14	0.5%	6	0.9%	1.0%
3. 週1回		26	0.9%	8	1.2%	1.8%
4. 月1～3回		195	6.5%	43	6.3%	8.4%
5. 年に数回		762	25.5%	138	20.1%	27.0%
6. 参加していない		1,624	54.4%	264	38.5%	54.0%
無回答		353	11.8%	223	32.6%	7.4%
⑧収入のある仕事						
1. 週4回以上		495	16.6%	89	13.0%	16.1%
2. 週2～3回		185	6.2%	34	5.0%	4.5%
3. 週1回		31	1.0%	10	1.5%	1.5%
4. 月1～3回		53	1.8%	9	1.3%	2.4%
5. 年に数回		65	2.2%	20	2.9%	2.4%
6. 参加していない		1,792	60.0%	283	41.3%	66.4%
無回答		366	12.3%	240	35.0%	6.8%
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。						
1. 是非参加したい		245	8.2%	55	8.0%	11.0%
2. 参加してもよい		1,399	46.8%	311	45.4%	50.5%
3. 参加したくない		1,056	35.4%	211	30.8%	33.0%
4. 既に参加している		144	4.8%	38	5.5%	-
無回答		143	4.8%	70	10.2%	5.6%
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。						
1. 是非参加したい		91	3.0%	27	3.9%	4.5%
2. 参加してもよい		926	31.0%	237	34.6%	38.2%
3. 参加したくない		1,692	56.6%	321	46.9%	51.3%
4. 既に参加している		118	4.0%	22	3.2%	-
無回答		160	5.4%	78	11.4%	5.9%
問6	たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします	回答数	割合	前回回答数	割合	前々調査時
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)						
1. 配偶者		1,606	24.9%	329	23.1%	25.1%
2. 同居の子ども		607	9.4%	147	10.3%	10.2%
3. 別居の子ども		1,135	17.6%	253	17.8%	17.5%
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫		1,058	16.4%	233	16.4%	16.1%
5. 近隣		406	6.3%	82	5.8%	6.2%
6. 友人		1,358	21.0%	291	20.4%	20.0%
7. その他		61	0.9%	18	1.3%	1.1%
8. そのような人はいない		145	2.2%	72	5.1%	2.2%
無回答		82	1.3%	0	0.0%	1.6%
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)						
1. 配偶者		1,528	24.4%	299	20.8%	23.5%
2. 同居の子ども		522	8.3%	128	8.9%	8.8%
3. 別居の子ども		979	15.6%	256	17.8%	16.5%
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫		1,052	16.8%	242	16.9%	16.1%
5. 近隣		477	7.6%	105	7.3%	8.3%
6. 友人		1,346	21.5%	294	20.5%	20.0%
7. その他		49	0.8%	14	1.0%	0.7%
8. そのような人はいない		203	3.2%	98	6.8%	3.9%
無回答		116	1.8%	0	0.0%	2.1%

	回答数	割合	前回回答数・割合		前々回調査時
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)					
1. 配偶者	1,758	37.0%	373	33.5%	35.3%
2. 同居の子ども	792	16.7%	186	16.7%	17.1%
3. 別居の子ども	1,016	21.4%	271	24.3%	21.9%
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	563	11.9%	137	12.3%	12.1%
5. 近隣	83	1.7%	22	2.0%	1.7%
6. 友人	200	4.2%	48	4.3%	5.1%
7. その他	58	1.2%	12	1.1%	1.3%
8. そのような人はいない	191	4.0%	65	5.8%	3.7%
無回答	84	1.8%	0	0.0%	1.9%
(4) 反対に、看病や世話をしあげる人(いくつでも)					
1. 配偶者	1,789	36.3%	376	31.4%	32.6%
2. 同居の子ども	664	13.5%	153	12.8%	12.4%
3. 別居の子ども	787	15.9%	220	18.3%	15.1%
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	756	15.3%	196	16.3%	15.2%
5. 近隣	126	2.6%	39	3.3%	2.9%
6. 友人	243	4.9%	74	6.2%	4.8%
7. その他	37	0.7%	12	1.0%	0.8%
8. そのような人はいない	347	7.0%	129	10.8%	12.0%
無回答	186	3.8%	0	0.0%	4.4%
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)					
1. 自治会・町内会・老人クラブ	591	11.3%	83	10.9%	7.6%
2. 社会福祉協議会・民生委員	1,154	22.1%	109	14.3%	12.0%
3. ケアマネジャー	569	10.9%	61	8.0%	7.8%
4. 医師・歯科医師・看護師	1,173	22.5%	158	20.8%	22.0%
5. 地域包括支援センター・役所	979	18.8%	76	10.0%	8.9%
6. その他	-	-	37	4.9%	6.8%
7. そのような人はいない(知らない)	571	11.0%	237	31.1%	27.3%
無回答	175	3.4%	0	0.0%	7.5%
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。					
1. 毎日ある	270	9.0%	61	8.9%	9.1%
2. 週に何度かある	935	31.3%	171	25.0%	31.3%
3. 月に何度かある	824	27.6%	190	27.7%	28.8%
4. 年に何度かある	477	16.0%	110	16.1%	14.1%
5. ほとんどない	401	13.4%	87	12.7%	12.0%
無回答	80	2.7%	66	9.6%	4.8%
(7) この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか。(同じ人には何度あっても1人と数えることとします。)					
1. 0人(いない)	311	10.4%	88	12.8%	10.4%
2. 1~2人	692	23.2%	181	26.4%	20.9%
3. 3~5人	746	25.0%	186	27.2%	23.5%
4. 6~9人	360	12.1%	69	10.1%	13.8%
5. 10人以上	759	25.4%	95	13.9%	26.6%
無回答	119	4.0%	66	9.6%	4.7%
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)					
1. 近所・同じ地域の人	1,513	30.8%	324	28.7%	29.4%
2. 幼なじみ	278	5.7%	55	4.9%	5.2%
3. 学生時代の友人	559	11.4%	121	10.7%	11.3%
4. 仕事での同僚・元同僚	795	16.2%	177	15.7%	14.0%
5. 趣味や関心が同じ友人	1,060	21.6%	246	21.8%	22.8%
6. ボランティア等の活動での友人	144	2.9%	35	3.1%	4.3%
7. その他	180	3.7%	53	4.7%	6.7%
8. いない	231	4.7%	49	4.3%	4.0%
無回答	151	3.1%	70	6.2%	2.4%

問7 健康について	回答数	割合	前回回答数・割合		前々回調査時
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか？					
1. とてもよい	348	11.7%	78	11.4%	12.7%
2. まあよい	2,015	67.5%	434	63.4%	62.0%
3. あまりよくない	437	14.6%	98	14.3%	18.8%
4. よくない	73	2.4%	16	2.3%	3.1%
無回答	114	3.8%	59	8.6%	3.4%
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)					
0点	21	0.7%	3	0.4%	0.6%
1点	23	0.8%	5	0.7%	0.6%
2点	20	0.7%	3	0.4%	0.9%
3点	86	2.9%	16	2.3%	3.0%
4点	100	3.3%	20	2.9%	3.8%
5点	614	20.6%	119	17.4%	19.5%
6点	287	9.6%	41	6.0%	8.6%
7点	455	15.2%	103	15.0%	13.6%
8点	635	21.3%	155	22.6%	19.4%
9点	284	9.5%	60	8.8%	8.8%
10点	315	10.5%	95	13.9%	18.3%
無回答	147	4.9%	65	9.5%	2.9%
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか					
1. はい	1,137	38.1%	290	42.3%	40.3%
2. いいえ	1,724	57.7%	335	48.9%	56.0%
無回答	126	4.2%	60	8.8%	3.8%
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか					
1. はい	678	22.7%	192	28.0%	24.2%
2. いいえ	2,180	73.0%	429	62.6%	72.2%
無回答	129	4.3%	64	9.3%	3.6%
(5) タバコは吸っていますか					
1. ほぼ毎日吸っている	216	7.2%	58	8.5%	9.9%
2. 時々吸っている	64	2.1%	9	1.3%	2.0%
3. 吸っていたがやめた	871	29.2%	178	26.0%	29.0%
4. もともと吸っていない	1,737	58.2%	390	56.9%	57.4%
無回答	99	3.3%	50	7.3%	1.8%
(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)					
1. ない	464	9.0%	187	16.0%	10.2%
2. 高血圧	1,251	24.2%	268	23.0%	23.1%
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	83	1.6%	20	1.7%	2.5%
4. 心臓病	280	5.4%	55	4.7%	5.8%
5. 糖尿病	457	8.8%	84	7.2%	8.0%
6. 高脂血症(脂質異常)	454	8.8%	76	6.5%	6.6%
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	143	2.8%	40	3.4%	3.0%
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	163	3.1%	32	2.7%	3.2%
9. 腎臓・前立腺の病気	220	4.3%	41	3.5%	3.3%
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	304	5.9%	87	7.5%	7.9%
11. 外傷(転倒・骨折等)	106	2.0%	24	2.1%	2.7%
12. がん(悪性新生物)	111	2.1%	28	2.4%	2.3%
13. 血液・免疫の病気	32	0.6%	6	0.5%	0.5%
14. うつ病	41	0.8%	8	0.7%	0.5%
15. 認知症(アルツハイマー病等)	24	0.5%	8	0.7%	0.4%
16. パーキンソン病	7	0.1%	5	0.4%	0.4%
17. 目の病気	442	8.5%	88	7.5%	8.2%
18. 耳の病気	139	2.7%	52	4.5%	2.9%
19. その他	245	4.7%	57	4.9%	4.8%
無回答	209	4.0%	0	0.0%	3.5%

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について	回答数	割合	前回回答数・割合		前々回調査時
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか					
1. はい	231	7.7%	59	8.6%	-
2. いいえ	2,614	87.5%	551	80.4%	-
無回答	142	4.8%	75	10.9%	-
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか					
1. はい	679	22.7%	188	27.4%	-
2. いいえ	2,184	73.1%	396	57.8%	-
無回答	124	4.2%	101	14.7%	-
(2)① (相談窓口を知っている方のみ) 知っている相談窓口はどの窓口ですか(いくつでも)					
1. 地域包括支援センター	514	57.0%	146	57.3%	-
2. 認知症地域支援推進員	74	8.2%	34	13.3%	-
3. 認知症疾患医療センター	159	17.6%	35	13.7%	-
4. たかろばカフェ	72	8.0%	17	6.7%	-
5. その他	61	6.8%	9	3.5%	-
無回答	22	2.4%	14	5.5%	-
問9 医療や介護について	回答数	割合	前回回答数・割合		前々回調査時
(1) あなたは、心身の状態について相談できる、かかりつけ医がいますか			回答数	割合	
1. はい	2,354	78.8%	498	72.7%	-
2. いいえ	556	18.6%	128	18.7%	-
無回答	77	2.6%	59	8.6%	-
(2) 自宅で医師の往診や治療が受けられることを知っていますか					
1. 知っている	1,717	57.5%	398	58.1%	-
2. 知らない	1,182	39.6%	226	33.0%	-
無回答	88	2.9%	61	8.9%	-
(3) あなたは、歯や口の状態について相談できる、かかりつけ歯科医がいますか					
1. はい	2,310	77.3%	507	74.0%	-
2. いいえ	604	20.2%	124	18.1%	-
無回答	73	2.4%	54	7.9%	-
(4) 自宅で歯科医師の往診や治療が受けられることを知っていますか					
1. 知っている	751	25.1%	188	27.4%	-
2. 知らない	2,143	71.7%	438	63.9%	-
無回答	93	3.1%	59	8.6%	-
(5) 自宅で訪問看護が受けられることを知っていますか					
1. 知っている	2,122	71.0%	476	69.5%	-
2. 知らない	775	25.9%	151	22.0%	-
無回答	90	3.0%	58	8.5%	-
(6) かかりつけ薬局・薬剤師がいますか					
1. はい	1,752	58.7%	383	55.9%	-
2. いいえ	1,130	37.8%	239	34.9%	-
無回答	105	3.5%	63	9.2%	-
(7) 人生会議(ACP)を知っていますか ※ 人生会議(ACP):「人生の最終段階における医療・ケアの意思決定」 自らが望む医療やケアについて、前もって信頼できる人と繰り返し話し合い、共有する取組					
1. 知っている、話し合っている	51	1.7%	33	4.8%	-
2. 知っているけど、話し合っていない	240	8.0%	84	12.3%	-
3. 知らない	2,614	87.5%	502	73.3%	-
無回答	82	2.7%	66	9.6%	-
(8) あなたが病気などで長期の療養が必要になった時、どこで過ごしたいですか					
1. 自宅	1,079	36.1%	232	32.6%	-
2. 医療機関	883	29.6%	195	27.4%	-
3. 介護施設	329	11.0%	86	12.1%	-
4. その他	27	0.9%	5	0.7%	-
5. わからない	578	19.4%	138	19.4%	-
無回答	91	3.0%	56	7.9%	-

	回答数	割合	前回回答数・割合		前々回調査時
(9) あなたは治る見込みがない病気になった時、最期をどこで迎えたいですか					
1. 自宅	1,320	44.2%	304	42.2%	-
2. 病院などの医療施設	766	25.6%	179	24.8%	-
3. 子どもの家	19	0.6%	7	1.0%	-
4. 兄弟姉妹などの親戚の家	2	0.1%	2	0.3%	-
5. 特別養護老人ホームなどの福祉施設	217	7.3%	49	6.8%	-
6. サービス付き高齢者向け住宅	66	2.2%	17	2.4%	-
7. その他	17	0.6%	7	1.0%	-
8. わからない	485	16.2%	112	15.5%	-
無回答	95	3.2%	44	6.1%	-
(10) 介護予防のために、フレイル状態を予防することが重要だと知っていますか ※フレイル: 高齢になって心身の活力(筋力、認知機能、社会とのつながりなど)が低下した状態。					
1. 知っている	1,311	43.9%	306	44.7%	-
2. 知らない	1,570	52.6%	336	49.1%	-
無回答	106	3.5%	43	6.3%	-
(11) 介護予防のために、オーラルフレイル状態を予防することが重要だと知っていますか ※オーラルフレイル: 口の機能の低下、食べる機能の障害、さらに心身の機能低下につながる、フレイルの始まり。					
1. 知っている	1,209	40.5%	277	40.4%	-
2. 知らない	1,650	55.2%	364	53.1%	-
無回答	128	4.3%	44	6.4%	-

問10 本市の独自調査項目 (令和4年度実施分)	回答数	割合	前回回答数・割合		前々回調査時
高齢者の福祉事業の中で特に必要と思われるものはどれですか。(1~4の中から1つお選びください。)					
1. 生きがい対策事業 例: 老人福祉センター事業(幸楽荘)、敬老事業(敬老会など)	308	10.3%			
2. 高齢者見守り事業 例: 高齢者世帯の安否確認事業、認知症高齢者等への見守り支援機器助成事業	729	24.4%			
3. 日常生活支援事業 例: 暮らしのお手伝い事業、日常生活用具給付事業	1,100	36.8%			-
4. 在宅介護支援事業 例: 紙おむつ等支援事業、在宅介護者への給付金事業	607	20.3%			
無回答	243	8.1%			

ゴールドプラン21（第9期計画）

足利市老人福祉計画
足利市介護保険事業計画

〒326-8601

栃木県足利市本城三丁目 2145 番地

足利市 健康福祉部 元気高齢課

TEL 0284-20-2136

FAX 0284-20-1456

Email: genki@city.ashikaga.lg.jp